

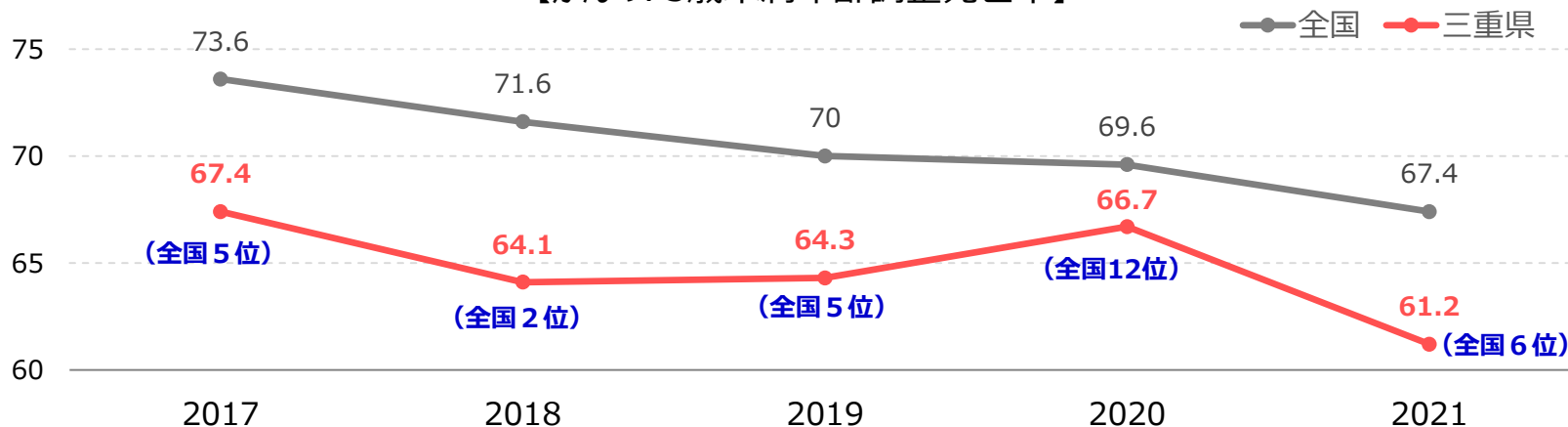
がんの死亡率に関連する 要因分析について

令和4年度第2回がん対策推進協議会でのご意見

過去5年間のがんの年齢調整死亡率を見ると、三重県は全国値よりも低い水準で推移しているが、この要因としてどういったことが考えられるのか教えてほしい。



【がんの75歳未満年齢調整死亡率】



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）



がんの年齢調整死亡率に関連すると考えられる要因の分析を実施

STEP 1

全国と比べ特に死亡率が低いがんは何か？

各がんの中で、特にがん全体の死亡率の低減に寄与していると考えられるがん種を推察

STEP 2

各がんの死亡率に全国的な地域差の影響はあるか？

全国の罹患率および死亡率の状況をもとに、各がんの地理的要因による地域差の有無を確認

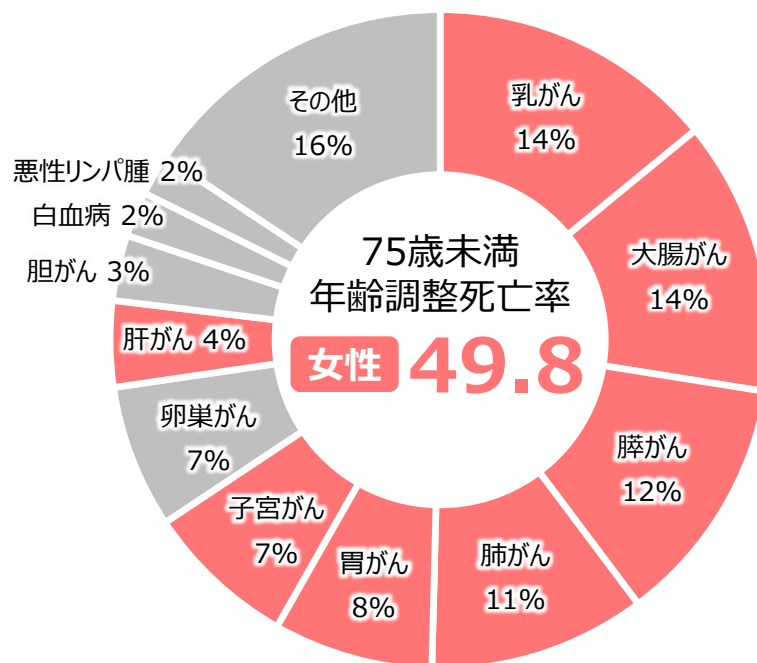
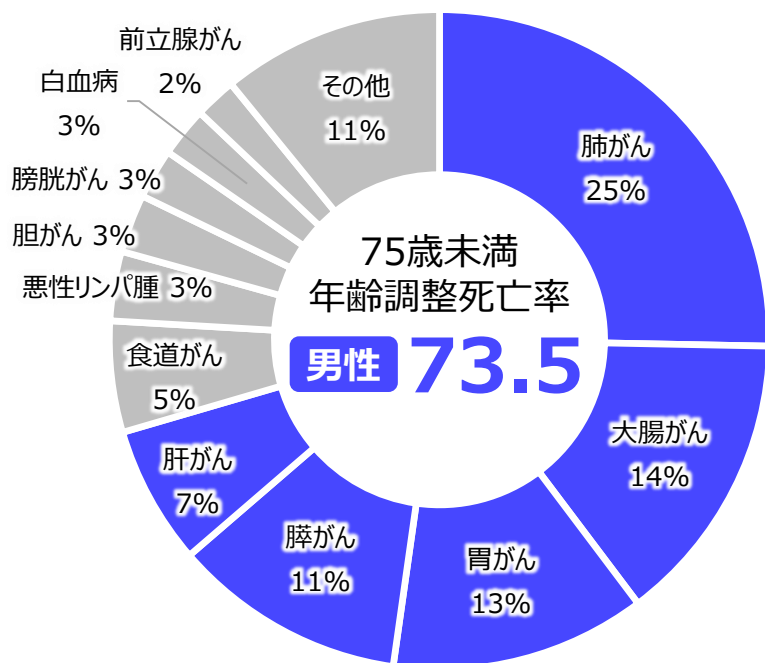
STEP 3

各がんの死亡率にどんな要因が影響しているのか？

ロジックモデルの考え方を取り入れ、各がんの死亡率に関連すると考えられる要因の特定に向け階層を掘り下げて分析

分析の対象とするがん種

- がん種ごと分析することとし、三重県の75歳未満年齢調整死亡率に占める割合の大きい、**肺がん、大腸がん、胃がん、膵がん、肝がん、乳がん、子宮がん**の7種類に限定して分析（男女とも約7割をカバー）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）の2001年データを基に県でグラフ化

がん全体の死亡率の低減に寄与していると考えられるがん種

- 75歳未満年齢調整死亡率を、各年のバラつきを抑えるため、5年間の平均で算出したところ、本県の全がん種の全国順位は**男性で6位、女性は4位**となっている
- 個別のがん種では、男性の場合、**肝がん、肺がん、大腸がん**が上位1 / 3となっている
- 女性の場合は、**肺がん、膵がん、肝がん、乳がん、子宮がん**が上位1 / 3となっている

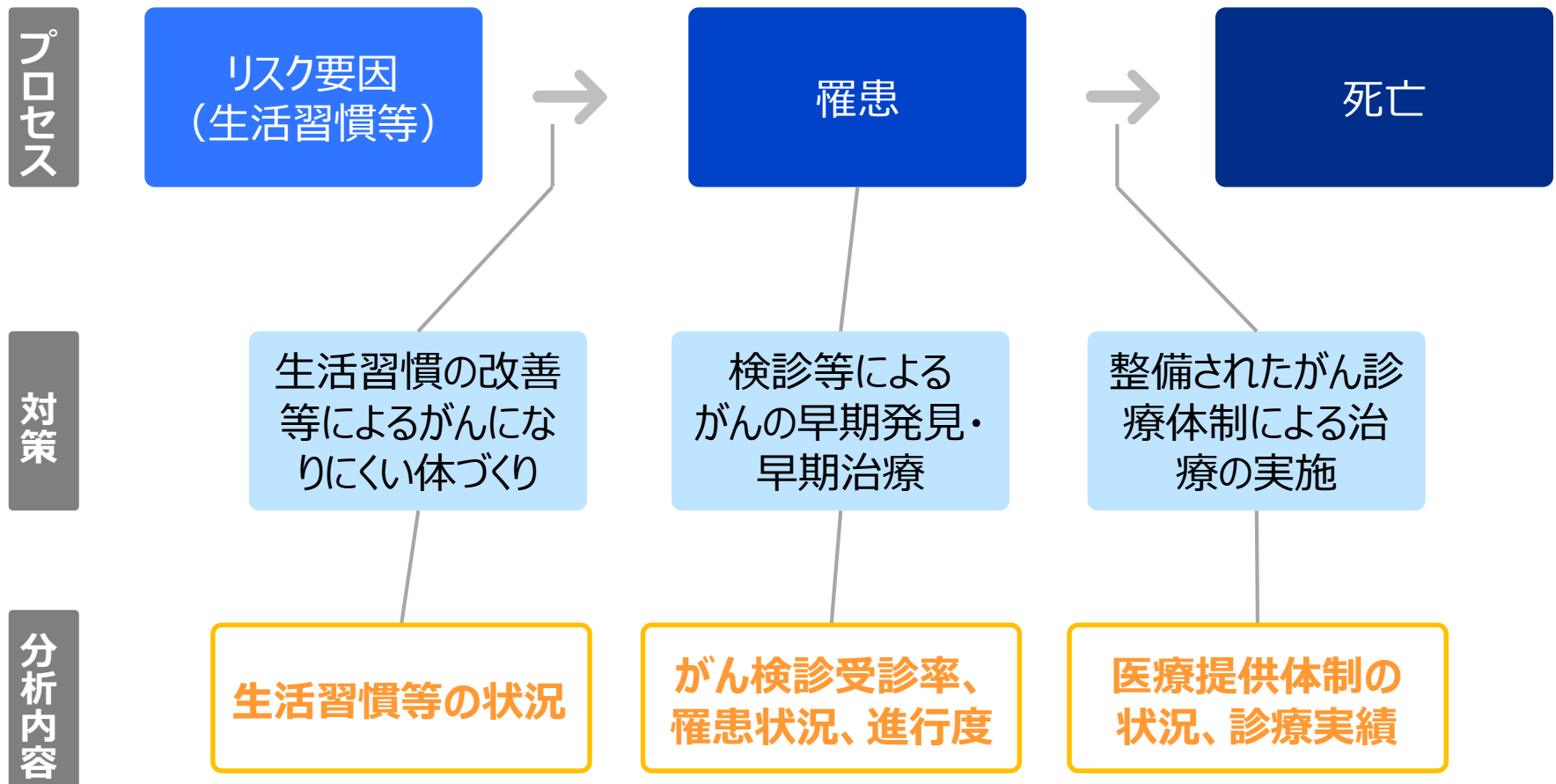
75歳未満年齢調整死亡率の5年平均値（2017-2021）

		全がん種	肺がん	大腸がん	胃がん	膵がん	肝がん	乳がん	子宮がん
男性	全国	87.0	19.6	12.7	10.7	8.7	6.6	—	—
	三重県 (順位)	80.7 (6)	18.5 (12)	11.7 (15)	10.8 (22)	9.3 (40)	5.3 (7)	—	—
女性	全国	55.2	6.0	7.2	4.2	5.4	1.7	10.4	4.9
	三重県 (順位)	50.2 (4)	5.1 (9)	7.0 (20)	4.3 (23)	5.1 (10)	1.6 (14)	8.5 (3)	4.3 (9)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）

**なぜ、これらのがんの死亡率が全国と比較して低いのか、
各がん特有の死亡率に関連する要因をさらに分析することが必要**

- がんにより死亡に至ってしまう場合のプロセスをもとに死亡率の低減につながる要因を深掘りして分析を行う



分析で使用する指標

年齢調整死亡率

- もし人口構成が同じだったらと仮定して推計される死亡率（人口10万対の死亡数）のことで、若者が多い都市部と高齢者の多い地方とを比較する場合など、異なる地域間や時間軸で比較可能な指標。
- 今回の分析では、人口動態統計の直近5年間（2017-2021）の平均データを使用。

年齢調整罹患率

- 年齢調整死亡率と同様の考え方に立ち、異なる地域間や時間軸で罹患率（人口10万対の罹患者数）を比較可能とするための指標。
- 今回の分析では、全国がん登録の入手可能な直近4年間（2016-2019）の平均データを使用。

SMR（標準化死亡比）

- 人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。全国平均を100として表し、SMRが100より大きい場合は全国より死亡率が高く、SMRが100より小さい場合は全国より死亡率が低いことを意味する。年齢調整死亡率のように死亡者数の規模は分からないが、100を基準とするため相対的な比較が容易となる。
- 今回の分析では、人口動態統計の直近5年間（2017-2021）の合計データを使用。

SIR（標準化罹患比）

- SMRと同様の考え方に立ち、全国平均を100として、地域の罹患率を比較するための指標。
- 今回の分析では、全国がん登録の入手可能な直近4年間（2016-2019）の合計データを使用。

SCR（性・年齢調整標準化レセプト出現比）

- SMRやSIRと同様の考え方に立ち、レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、全国平均を100として、都道府県の年齢構成の違いを除去して比較するための指標。
- 今回の分析では、内閣府HPで「医療提供状況の地域差」として公開されている令和2年度診療分の単年度データを使用。

肺がんの死亡率の要因分析

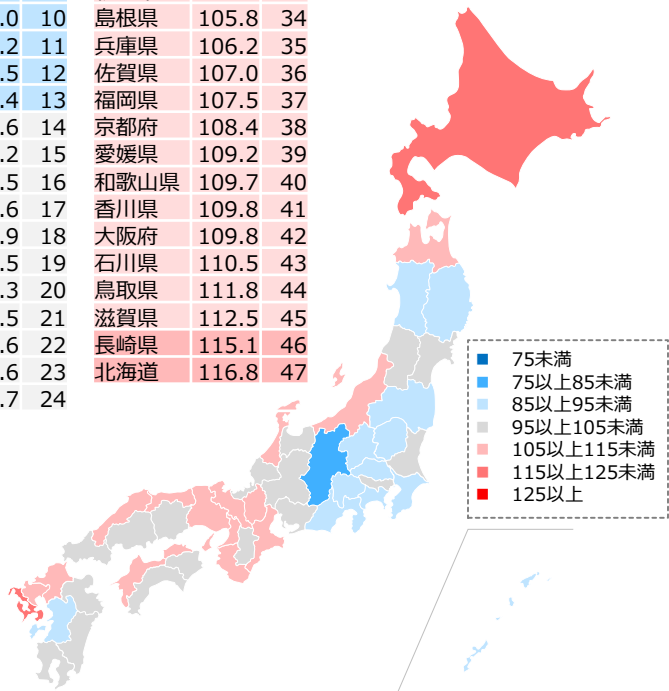


肺がん（男性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、北海道、青森県、大阪府、和歌山県、福岡県、長崎県で高くなっている。
- 一方、長野県、山梨県、神奈川県、静岡県の一帯で罹患・死亡とも低くなっている。

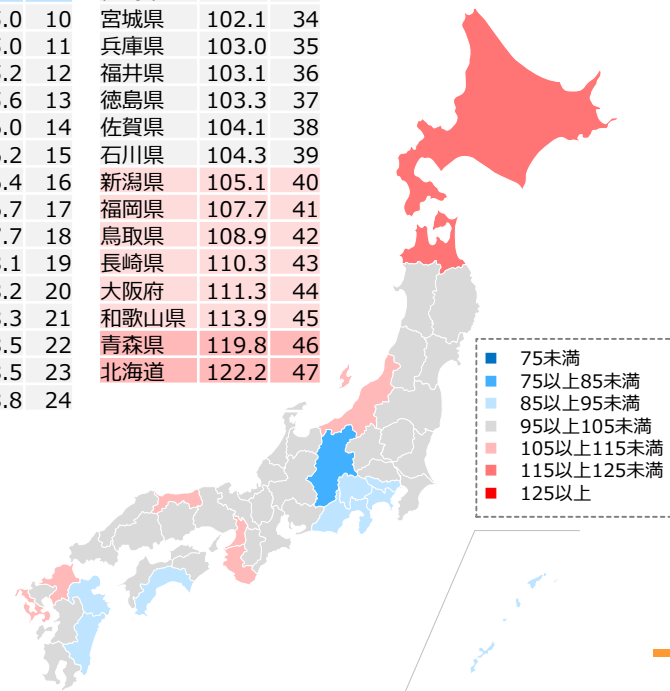
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
長野県	79.1	1	徳島県	100.6	25
岩手県	86.7	2	福井県	101.3	26
沖縄県	87.1	3	富山県	102.1	27
山梨県	87.7	4	広島県	102.9	28
静岡県	89.2	5	山口県	103.4	29
群馬県	91.3	6	岡山県	103.5	30
神奈川県	91.6	7	三重県	105.2	31
秋田県	91.7	8	青森県	105.5	32
福島県	92.6	9	新潟県	105.7	33
千葉県	93.0	10	島根県	105.8	34
熊本県	93.2	11	兵庫県	106.2	35
栃木県	93.5	12	佐賀県	107.0	36
埼玉県	94.4	13	福岡県	107.5	37
高知県	95.6	14	京都府	108.4	38
茨城県	96.2	15	愛媛県	109.2	39
宮崎県	96.5	16	和歌山県	109.7	40
東京都	96.6	17	香川県	109.8	41
大分県	96.9	18	大阪府	109.8	42
鹿児島県	98.5	19	石川県	110.5	43
岐阜県	99.3	20	鳥取県	111.8	44
奈良県	99.5	21	滋賀県	112.5	45
愛知県	99.6	22	長崎県	115.1	46
山形県	99.6	23	北海道	116.8	47
宮城県	99.7	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
長野県	76.5	1	香川県	99.1	25
山梨県	85.6	2	山形県	100.0	26
静岡県	90.5	3	三重県	100.2	27
沖縄県	91.4	4	茨城県	100.9	28
神奈川県	91.5	5	滋賀県	100.9	29
宮崎県	91.9	6	秋田県	101.3	30
高知県	93.6	7	愛知県	101.3	31
大分県	93.9	8	京都府	101.5	32
東京都	94.4	9	福島県	102.1	33
熊本県	95.0	10	宮城県	102.1	34
鹿児島県	95.0	11	兵庫県	103.0	35
富山県	95.2	12	福井県	103.1	36
岐阜県	95.6	13	徳島県	103.3	37
広島県	96.0	14	佐賀県	104.1	38
埼玉県	96.2	15	石川県	104.3	39
千葉県	96.4	16	新潟県	105.1	40
栃木県	96.7	17	福岡県	107.7	41
群馬県	97.7	18	鳥取県	108.9	42
岩手県	98.1	19	長崎県	110.3	43
島根県	98.2	20	大阪府	111.3	44
山口県	98.3	21	和歌山県	113.9	45
愛媛県	98.5	22	青森県	119.8	46
奈良県	98.5	23	北海道	122.2	47
岡山県	98.8	24			

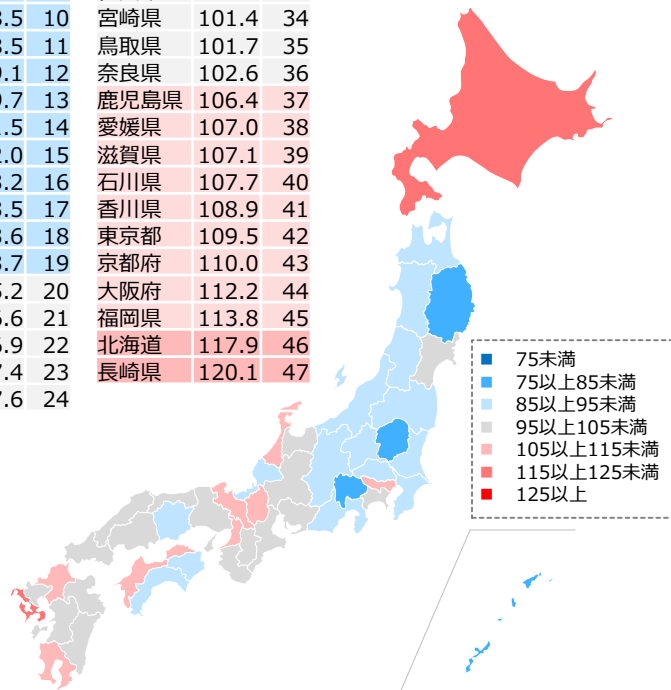


肺がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、北海道、大阪府、福岡県、長崎県で高くなっている。
- 一方、東北から東京を除く関東にかけての一带で罹患・死亡とも低くなっている。

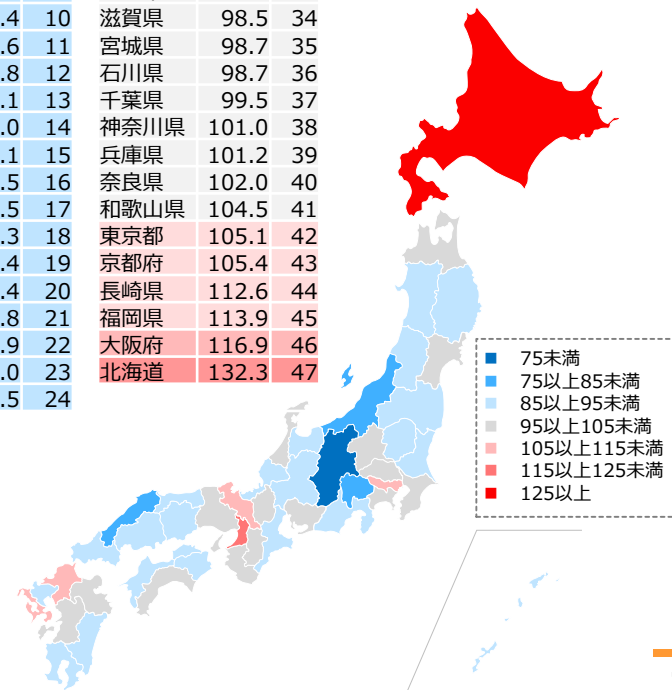
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	81.2	1	神奈川県	97.7	25
山梨県	83.6	2	広島県	98.4	26
岩手県	83.8	3	三重県	98.7	27
栃木県	84.7	4	山口県	98.9	28
長野県	86.1	5	和歌山県	99.2	29
山形県	86.1	6	宮城県	100.6	30
秋田県	87.4	7	兵庫県	100.8	31
茨城県	87.4	8	大分県	101.3	32
青森県	88.0	9	佐賀県	101.3	33
福島県	88.5	10	宮崎県	101.4	34
群馬県	88.5	11	鳥取県	101.7	35
福井県	89.1	12	奈良県	102.6	36
静岡県	89.7	13	鹿児島県	106.4	37
新潟県	91.5	14	愛媛県	107.0	38
埼玉県	92.0	15	滋賀県	107.1	39
岡山県	93.2	16	石川県	107.7	40
徳島県	93.5	17	香川県	108.9	41
高知県	93.6	18	東京都	109.5	42
千葉県	93.7	19	京都府	110.0	43
愛知県	95.2	20	大阪府	112.2	44
岐阜県	96.6	21	福岡県	113.8	45
島根県	96.9	22	北海道	117.9	46
富山県	97.4	23	長崎県	120.1	47
熊本県	97.6	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
長野県	74.6	1	岐阜県	94.6	25
島根県	83.7	2	徳島県	94.7	26
山梨県	84.2	3	群馬県	96.0	27
新潟県	84.5	4	大分県	96.7	28
富山県	85.1	5	熊本県	96.8	29
福井県	86.3	6	青森県	97.0	30
秋田県	87.9	7	高知県	97.4	31
三重県	88.2	8	愛知県	97.6	32
広島県	88.3	9	埼玉県	98.2	33
愛媛県	88.4	10	滋賀県	98.5	34
岡山県	88.6	11	宮城県	98.7	35
山形県	88.8	12	石川県	98.7	36
沖縄県	89.1	13	千葉県	99.5	37
静岡県	91.0	14	神奈川県	101.0	38
岩手県	91.1	15	兵庫県	101.2	39
香川県	91.5	16	奈良県	102.0	40
福島県	92.5	17	和歌山県	104.5	41
佐賀県	93.3	18	東京都	105.1	42
宮崎県	93.4	19	京都府	105.4	43
茨城県	93.4	20	長崎県	112.6	44
鹿児島県	93.8	21	福岡県	113.9	45
鳥取県	93.9	22	大阪府	116.9	46
栃木県	94.0	23	北海道	132.3	47
山口県	94.5	24			



肺がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）				
	項目	全国	三重県	順位
男	喫煙率（%）	25.4	25.9	28
女	喫煙率（%）	7.7	6.7	30
男女	特定健診受診率（%）	56.2	59.3	11
	特定保健指導実施率（%）	24.7	23.7	34

二次予防（がん検診受診率等）				
	項目	全国	三重県	順位
男女	がん検診受診率（%） （40-69歳）※住民検診	6.0	6.8	25
男	精検受診率（%） （40-74歳）※住民検診	80.9	78.9	35
	がん検診受診率（%） （40-69歳）※職域等含む	53.2	52.4	34
女	精検受診率（%） （40-74歳）※住民検診	86.1	87.0	31
	がん検診受診率（%） （40-69歳）※職域等含む	46.4	45.2	31

医療提供体制（専門医）				
	項目	全国	三重県	順位
呼吸器専門医（人）		6,520	47	-
	同（人口10万対）（人）	5.2	2.7	47
呼吸器外科専門医（人）		1,584	21	-
	同（人口10万対）（人）	1.3	1.2	25
気管支鏡専門医（人）		2,159	29	-
	同（人口10万対）（人）	1.7	1.6	23
放射線科専門医（人）		6,612	83	-
	同（人口10万対）（人）	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医（人）		1,314	13	-
	同（人口10万対）（人）	1.00	0.7	31

罹患状況・治療実績

肺がんの罹患状況				
	項目	全国	三重県	順位
男	がん登録数（人）	84,325	1,262	-
	年齢調整罹患率〔4年平均〕	63.0	65.5	31
	SIR〔4年間〕	100	105.2	32
女	がん登録数（人）	42,221	629	-
	年齢調整罹患率〔4年平均〕	26.4	26.9	32
	SIR〔4年間〕	100	98.7	27

肺がんの早期発見状況				
	項目	全国	三重県	順位
発見経緯	がん検診・健康診断・人間ドック	16.4	15.8	26
	他疾患の経過観察中	44.8	48.7	12
	その他	35.8	33.0	35
進行度	限局（%）	35.4	39.5	6
	所属リンパ節転移（%）	9.1	9.0	28
	隣接臓器浸潤（%）	10.0	10.0	18
	遠隔転移（%）	36.4	33.6	39
	不明（%）	9.0	7.9	34

肺がんにかかる治療実績					
	項目	全国	三重県	順位	
肺悪性腫瘍手術	入院	SCR	100	47.8	39
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	入院	SCR	100	98.0
肺がんを主病名とする治療	入院	SCR	100	75.7	44
	入院外	SCR	100	45.0	46
肺がんに対する放射線治療	入院	SCR	100	85.1	35
	入院外	SCR	100	70.5	37
肺がんに対する化学療法	入院	SCR	100	90.1	34
	入院外	SCR	100	93.4	24

死亡状況

肺がんによる死亡状況				
	項目	全国	三重県	順位
男	死亡数（人）	53,278	838	-
	75歳未満年齢調整死亡率〔5年平均〕	19.6	18.5	12
	SMR〔5年間〕	100	100.2	27
女	死亡数（人）	22,934	354	-
	75歳未満年齢調整死亡率〔5年平均〕	6.0	5.1	9
	SMR〔5年間〕	100	88.2	8

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、肺がんの罹患・死亡に関しての全国での特徴的な地域エリアには含まれていない
- 罹患・死亡の関係からは、男女とも罹患率に対して死亡率は相対的に低くなっている（**罹患しても死亡に至らないケースが全国よりも多い**）
- 本県における肺がんの発見は、進行度が限局に留まる**初期の段階で発見される割合が高い**
- 肺がん検診の受診率は全国並みであり、しかも肺がんの発見経緯が「他疾患の経過観察中」の割合が高いことから、**検診以外で早期発見されるケースが多く、それが死亡率の低下に寄与している可能性**がある
- 一方で、肺がんの治療実績は全国と比較して件数が少なめとなっており、呼吸器専門医の確保・育成なども課題となり得る

大腸がんの死亡率の要因分析

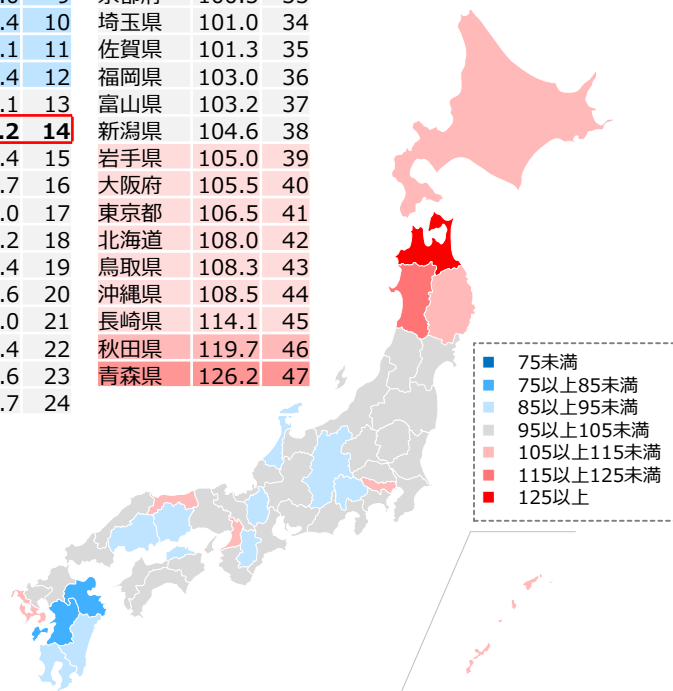


大腸がん（男性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、北海道と東北地方の一部で高くなっている。
- 一方、中国と九州の一部地域では罹患・死亡とも低くなっている。

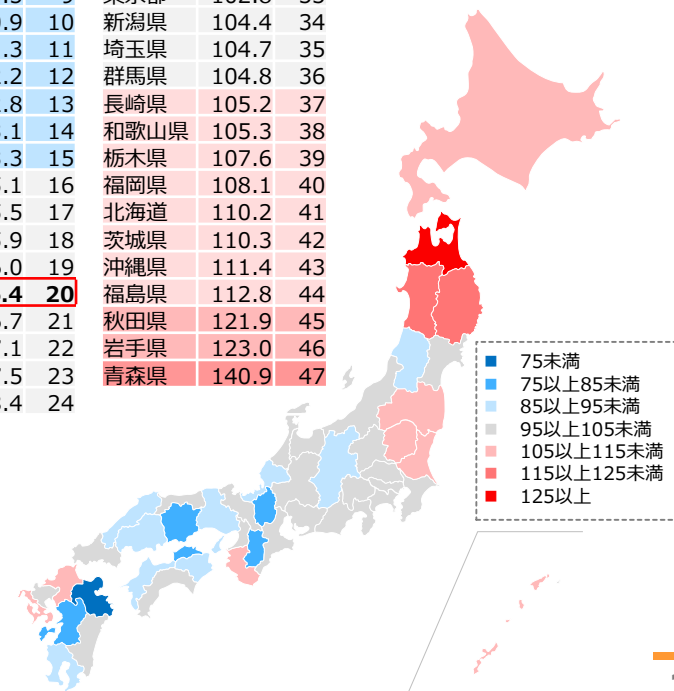
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
熊本県	81.5	1	宮城県	98.8	25
大分県	81.8	2	茨城県	98.9	26
香川県	86.4	3	岐阜県	99.2	27
長野県	87.6	4	神奈川県	99.3	28
奈良県	88.3	5	山口県	99.8	29
滋賀県	90.7	6	栃木県	99.9	30
岡山県	90.9	7	島根県	100.0	31
石川県	90.9	8	和歌山県	100.0	32
山梨県	93.0	9	京都府	100.5	33
鹿児島県	93.4	10	埼玉県	101.0	34
広島県	94.1	11	佐賀県	101.3	35
宮崎県	94.4	12	福岡県	103.0	36
山形県	95.1	13	富山県	103.2	37
三重県	95.2	14	新潟県	104.6	38
徳島県	95.4	15	岩手県	105.0	39
高知県	95.7	16	大阪府	105.5	40
静岡県	96.0	17	東京都	106.5	41
愛知県	96.2	18	北海道	108.0	42
群馬県	96.6	20	鳥取県	108.3	43
福井県	97.0	21	沖縄県	108.5	44
兵庫県	98.4	22	長崎県	114.1	45
福島県	98.6	23	秋田県	119.7	46
千葉県	98.7	24	青森県	126.2	47



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
大分県	73.1	1	佐賀県	98.9	25
熊本県	79.7	2	愛知県	99.6	26
岡山県	80.5	3	山梨県	100.0	27
香川県	80.8	4	神奈川県	100.2	28
奈良県	82.8	5	山口県	100.6	29
滋賀県	84.6	6	大阪府	100.8	30
長野県	86.8	7	鳥取県	101.4	31
広島県	90.5	8	宮崎県	102.0	32
愛媛県	90.5	9	東京都	102.8	33
島根県	90.9	10	新潟県	104.4	34
兵庫県	91.3	11	埼玉県	104.7	35
徳島県	92.2	12	群馬県	104.8	36
福井県	92.8	13	長崎県	105.2	37
山形県	93.1	14	和歌山県	105.3	38
鹿児島県	93.3	15	栃木県	107.6	39
富山県	95.1	16	福岡県	108.1	40
静岡県	95.5	17	北海道	110.2	41
高知県	95.9	18	茨城県	110.3	42
宮城県	96.0	19	沖縄県	111.4	43
三重県	96.4	20	福島県	112.8	44
岐阜県	96.7	21	秋田県	121.9	45
千葉県	97.1	22	岩手県	123.0	46
京都府	97.5	23	青森県	140.9	47
石川県	98.4	24			

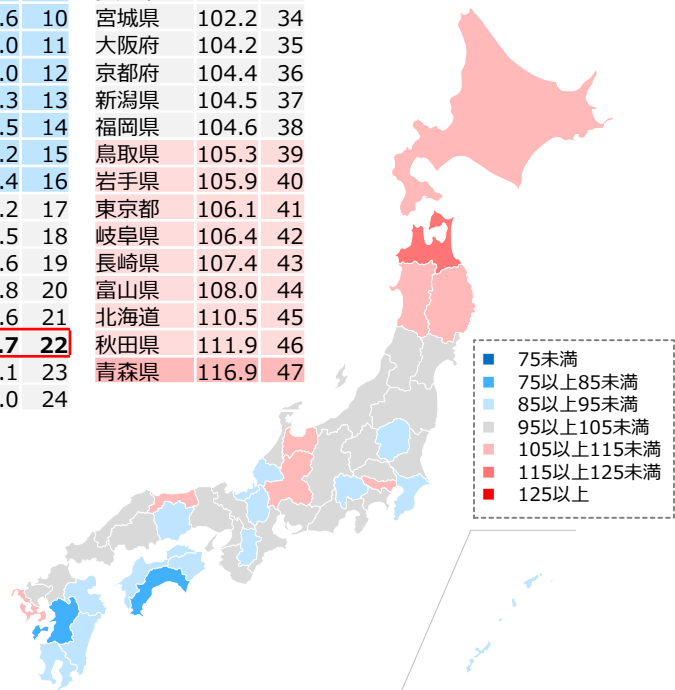


大腸がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、北海道と東北地方の一部で高くなっている。
- 一方、四国と九州の一部地域では罹患・死亡とも低くなっている。

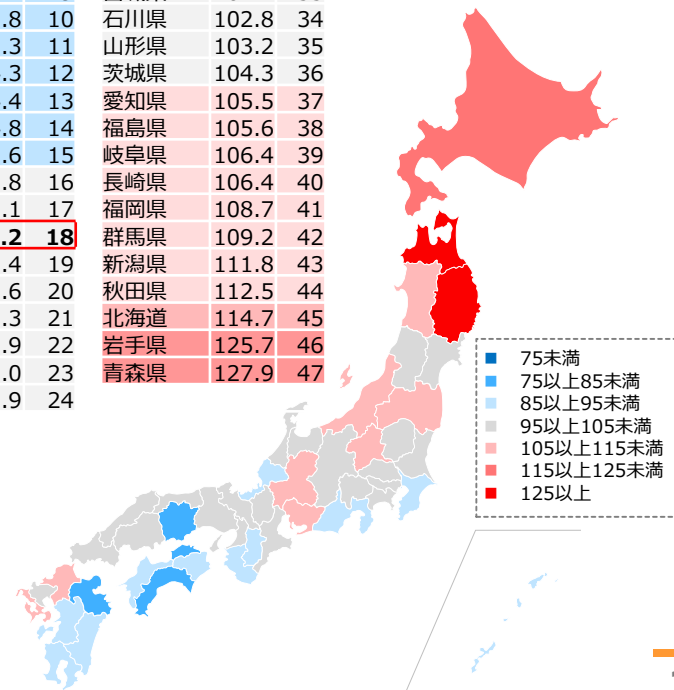
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
熊本県	84.1	1	佐賀県	98.4	25
高知県	84.8	2	山口県	98.5	26
山梨県	85.3	3	広島県	98.8	27
大分県	85.7	4	山形県	99.1	28
香川県	86.6	5	兵庫県	99.5	29
宮崎県	87.2	6	和歌山県	101.2	30
愛媛県	88.5	7	福島県	101.3	31
鹿児島県	89.1	8	神奈川県	101.5	32
沖縄県	90.3	9	愛知県	101.8	33
奈良県	90.6	10	宮城県	102.2	34
徳島県	92.0	11	大阪府	104.2	35
滋賀県	92.0	12	京都府	104.4	36
岡山県	92.3	13	新潟県	104.5	37
栃木県	93.5	14	福岡県	104.6	38
福井県	94.2	15	鳥取県	105.3	39
千葉県	94.4	16	岩手県	105.9	40
石川県	95.2	17	東京都	106.1	41
静岡県	95.5	18	岐阜県	106.4	42
長野県	95.6	19	長崎県	107.4	43
茨城県	95.8	20	富山県	108.0	44
群馬県	96.6	21	北海道	110.5	45
三重県	96.7	22	秋田県	111.9	46
島根県	97.1	23	青森県	116.9	47
埼玉県	98.0	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
高知県	75.9	1	京都府	100.0	25
香川県	83.5	2	鳥取県	100.5	26
大分県	83.6	3	埼玉県	100.6	27
岡山県	84.0	4	栃木県	100.9	28
宮崎県	86.2	5	山口県	101.2	29
熊本県	87.0	6	富山県	101.3	30
奈良県	87.4	7	島根県	101.7	31
徳島県	87.6	8	佐賀県	102.0	32
愛媛県	88.7	9	宮城県	102.7	33
鹿児島県	91.8	10	石川県	102.8	34
沖縄県	93.3	11	山形県	103.2	35
福井県	94.3	12	茨城県	104.3	36
和歌山県	94.4	13	愛知県	105.5	37
千葉県	94.8	14	福島県	105.6	38
静岡県	95.6	15	岐阜県	106.4	39
兵庫県	95.8	16	長崎県	106.4	40
長野県	96.1	17	福岡県	108.7	41
三重県	96.2	18	群馬県	109.2	42
広島県	96.4	19	新潟県	111.8	43
東京都	96.6	20	秋田県	112.5	44
滋賀県	97.3	21	北海道	114.7	45
山梨県	97.9	22	岩手県	125.7	46
大阪府	98.0	23	青森県	127.9	47
神奈川県	98.9	24			



大腸がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）				
	項目	全国	三重県	順位
男	喫煙率（%）	25.4	25.9	28
	週5日以上の飲酒割合（%）	33.0	29.4	44
	特定健診での肥満割合（%）	21.0	20.7	25
	運動を心がけている割合（%）	39.7	39.3	20
	バランスのとれた食事を心がけている割合（%）	35.5	36.2	11
女	喫煙率（%）	7.7	6.7	30
	週5日以上の飲酒割合（%）	11.3	9.1	44
	特定健診での肥満割合（%）	35.8	35.0	30
	運動を心がけている割合（%）	35.5	34.3	23
男女	バランスのとれた食事を心がけている割合（%）	41.5	42.2	10
	特定健診受診率（%）	56.2	59.3	11
	特定保健指導実施率（%）	24.7	23.7	34

二次予防（がん検診受診率等）				
	項目	全国	三重県	順位
男女	がん検診受診率（%） （40-69歳）※住民検診	7.0	7.9	15
	精検受診率（%） （40-74歳）※住民検診	68.0	60.4	44
男	がん検診受診率（%） （40-69歳）※職域等含む	49.1	49.2	26
女	精検受診率（%） （40-74歳）※住民検診	73.9	66.6	44
	がん検診受診率（%） （40-69歳）※職域等含む	42.8	42.6	27

医療提供体制（専門医）				
	項目	全国	三重県	順位
消化器病専門医（人）		20,268	327	-
	同（人口10万対）（人）	16.1	18.5	16
消化器外科専門医（人）		7,653	124	-
	同（人口10万対）（人）	6.1	7.0	15
消化器内視鏡専門医（人）		15,535	160	-
	同（人口10万対）（人）	12.3	9.0	42
大腸肛門専門医（人）		1,672	45	-
	同（人口10万対）（人）	1.3	2.5	1
放射線科専門医（人）		6,612	83	-
	同（人口10万対）（人）	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医（人）		1,314	13	-
	同（人口10万対）（人）	1.0	0.7	31

罹患状況・治療実績

大腸がんの罹患状況				
	項目	全国	三重県	順位
男	がん登録数（人）	87,872	1,193	-
	年齢調整罹患率【4年平均】	74.4	70.3	11
	SIR【4年間】	100	95.2	14
女	がん登録数（人）	67,753	892	-
	年齢調整罹患率【4年平均】	45.2	43.1	21
	SIR【4年間】	100	96.7	22

大腸がんの早期発見状況				
	項目	全国	三重県	順位
発見経緯	がん検診・健康診断・人間ドック	18.6	20.9	11
	他疾患の経過観察中	26.0	23.8	43
	その他	52.6	54.0	16
進行度	限局（%）	47.6	49.3	6
	所属リンパ節転移（%）	16.7	18.5	3
	隣接臓器浸潤（%）	10.9	9.5	41
	遠隔転移（%）	18.4	17.2	39
	不明（%）	6.5	5.3	41

大腸がんにかかる治療実績					
	項目	全国	三重県	順位	
結腸切除術（全切除、垂全切除又は悪性腫瘍手術）	入院	SCR	100	130.0	9
	入院	SCR	100	80.8	41
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	入院	SCR	100	53.5	43
	入院	SCR	100	79.6	31
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	入院	SCR	100	134.4	8
	入院	SCR	100	69.5	46
直腸腫瘍摘出術	入院	SCR	100	70.2	47
	入院外	SCR	100	57.1	44
大腸がんを主病名とする治療	入院	SCR	100	80.6	34
	入院外	SCR	100	89.6	32
大腸がんに対する放射線治療	入院	SCR	100	115.1	12
	入院外	SCR	100	85.7	30

死亡状況

大腸がんによる死亡状況				
	項目	全国	三重県	順位
男	死亡数（人）	28,080	415	-
	75歳未満年齢調整死亡率【5年平均】	12.7	11.7	15
	SMR【5年間】	100	96.4	20
女	死亡数（人）	24,338	364	-
	75歳未満年齢調整死亡率【5年平均】	7.2	7.0	20
	SMR【5年間】	100	96.2	18

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、大腸がんの罹患・死亡に関しての全国での特徴的な地域エリアには含まれていない
- 大腸がんのリスク要因となる生活習慣に関しては、**飲酒習慣やバランスのとれた食生活に関する項目が全国的に良好**となっている
- 大腸がん検診受診率も比較的高くなっており、**検診を契機として大腸がんの早期発見につながっている**
- 消化器にかかる**専門医は内科・外科とも比較的充実**しており、一部の手術についての高い治療実績につながっていると考えられる
- これらの結果、特に男性で顕著となっているが、**大腸がんの罹患が全国と比べ低く抑えられるとともに、そのまま死亡率も低位**となっている
- 一方で、大腸がんの精検受診率は男女とも全国下位にあるため、精検受診率の向上がさらなる死亡率の低下につながる可能性もある

胃がんの死亡率の要因分析

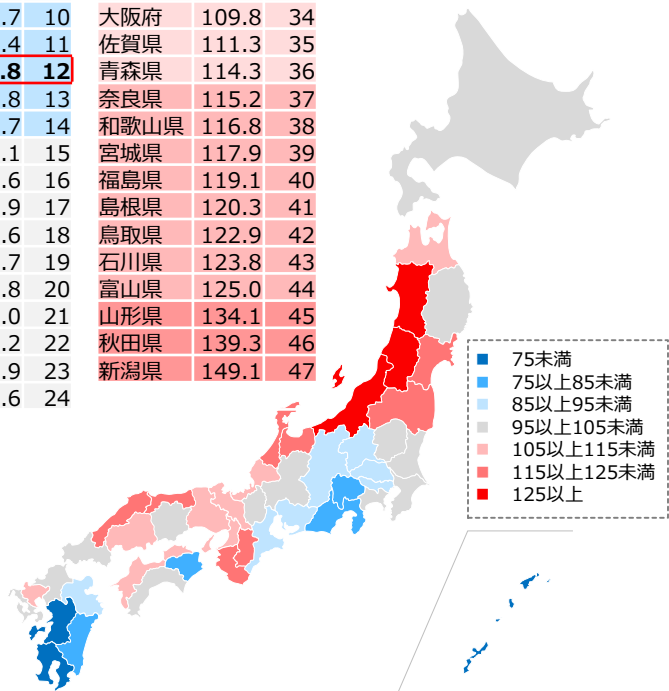


胃がん（男性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、東北地方の日本海側で高くなっている。
- 一方、甲信地方、静岡県の一帯と九州・沖縄地方で罹患・死亡とも低くなっている。

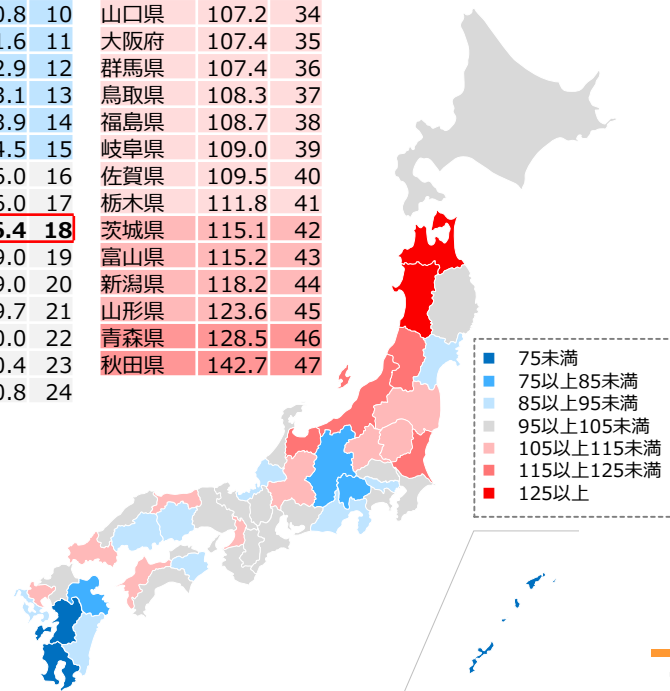
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	45.0	1	滋賀県	103.4	25
鹿児島県	70.4	2	長崎県	104.5	26
熊本県	72.6	3	岡山県	104.6	27
宮崎県	77.7	4	福井県	105.7	28
山梨県	82.3	5	広島県	107.0	29
徳島県	83.6	6	香川県	108.1	30
静岡県	84.8	7	兵庫県	108.6	31
大分県	86.2	8	愛媛県	109.1	32
長野県	87.9	9	京都府	109.3	33
愛知県	88.7	10	大阪府	109.8	34
東京都	90.4	11	佐賀県	111.3	35
三重県	90.8	12	青森県	114.3	36
埼玉県	92.8	13	奈良県	115.2	37
群馬県	94.7	14	和歌山県	116.8	38
北海道	96.1	15	宮城県	117.9	39
神奈川県	96.6	16	福島県	119.1	40
千葉県	96.9	17	島根県	120.3	41
栃木県	98.6	18	鳥取県	122.9	42
茨城県	98.7	19	石川県	123.8	43
福岡県	99.8	20	富山県	125.0	44
岐阜県	100.0	21	山形県	134.1	45
岩手県	100.2	22	秋田県	139.3	46
山口県	100.9	23	新潟県	149.1	47
高知県	101.6	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	58.7	1	奈良県	102.8	25
熊本県	68.3	2	兵庫県	102.8	26
鹿児島県	70.2	3	島根県	103.2	27
長野県	84.2	4	高知県	103.7	28
山梨県	84.7	5	埼玉県	103.8	29
大分県	84.7	6	愛知県	104.0	30
宮崎県	87.6	7	石川県	104.3	31
静岡県	89.5	8	和歌山県	104.7	32
岡山県	90.6	9	愛媛県	105.6	33
広島県	90.8	10	山口県	107.2	34
長崎県	91.6	11	大阪府	107.4	35
徳島県	92.9	12	群馬県	107.4	36
宮城県	93.1	13	鳥取県	108.3	37
東京都	93.9	14	福島県	108.7	38
福井県	94.5	15	岐阜県	109.0	39
神奈川県	96.0	16	佐賀県	109.5	40
京都府	96.0	17	栃木県	111.8	41
三重県	96.4	18	茨城県	115.1	42
福岡県	99.0	19	富山県	115.2	43
香川県	99.0	20	新潟県	118.2	44
滋賀県	99.7	21	山形県	123.6	45
千葉県	100.0	22	青森県	128.5	46
岩手県	100.4	23	秋田県	142.7	47
北海道	100.8	24			

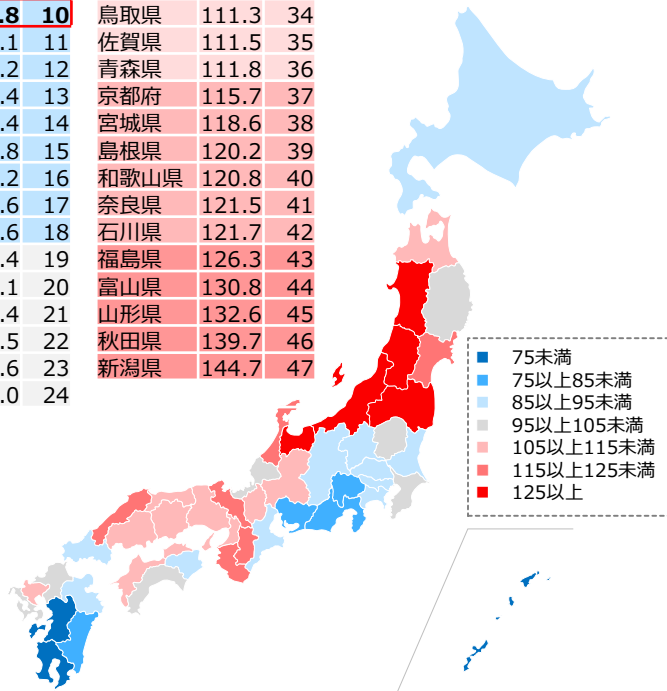


胃がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、東北地方の日本海側で高くなっている。
- 一方、九州・沖縄地方で罹患・死亡とも低くなっている。

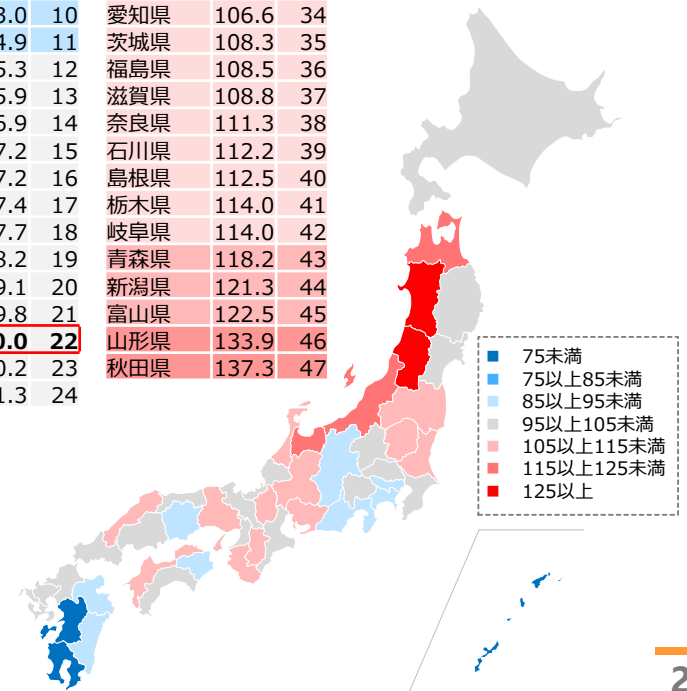
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	47.2	1	福井県	103.3	25
鹿児島県	67.5	2	滋賀県	105.0	26
熊本県	71.7	3	岐阜県	105.1	27
宮崎県	76.3	4	愛媛県	105.8	28
静岡県	81.6	5	岡山県	106.4	29
山梨県	83.2	6	兵庫県	107.2	30
愛知県	85.0	7	広島県	108.5	31
徳島県	85.0	8	大阪府	110.8	32
大分県	86.6	9	香川県	111.0	33
三重県	89.8	10	鳥取県	111.3	34
長野県	90.1	11	佐賀県	111.5	35
群馬県	92.2	12	青森県	111.8	36
埼玉県	92.4	13	京都府	115.7	37
茨城県	93.4	14	宮城県	118.6	38
北海道	93.8	15	島根県	120.2	39
東京都	94.2	16	和歌山県	120.8	40
神奈川県	94.6	17	奈良県	121.5	41
山口県	94.6	18	石川県	121.7	42
高知県	95.4	19	福島県	126.3	43
千葉県	96.1	20	富山県	130.8	44
岩手県	98.4	21	山形県	132.6	45
長崎県	98.5	22	秋田県	139.7	46
栃木県	100.6	23	新潟県	144.7	47
福岡県	101.0	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	53.3	1	佐賀県	101.8	25
熊本県	69.6	2	鳥取県	102.2	26
鹿児島県	73.3	3	群馬県	102.4	27
宮崎県	85.5	4	大阪府	104.4	28
大分県	86.1	5	山口県	104.8	29
静岡県	87.0	6	兵庫県	105.6	30
徳島県	91.7	7	愛媛県	105.7	31
岡山県	91.8	8	香川県	106.1	32
東京都	92.0	9	和歌山県	106.2	33
神奈川県	93.0	10	愛知県	106.6	34
長野県	94.9	11	茨城県	108.3	35
長崎県	95.3	12	福島県	108.5	36
千葉県	95.9	13	滋賀県	108.8	37
高知県	96.9	14	奈良県	111.3	38
宮城県	97.2	15	石川県	112.2	39
広島県	97.2	16	島根県	112.5	40
岩手県	97.4	17	栃木県	114.0	41
福岡県	97.7	18	岐阜県	114.0	42
山梨県	98.2	19	青森県	118.2	43
埼玉県	99.1	20	新潟県	121.3	44
北海道	99.8	21	富山県	122.5	45
三重県	100.0	22	山形県	133.9	46
福井県	100.2	23	秋田県	137.3	47
京都府	101.3	24			



胃がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）

		項目	全国	三重県	順位
男		喫煙率 (%)	25.4	25.9	28
		うす味を心がけている割合 (%)	21.5	19.7	39
		食塩摂取量 (g/日)	10.8	10.7	21
女		喫煙率 (%)	7.7	6.7	30
		うす味を心がけている割合 (%)	32.6	30.7	41
		食塩摂取量 (g/日)	9.2	9.0	17
男女		特定健診受診率 (%)	56.2	59.3	11
		特定保健指導実施率 (%)	24.7	23.7	34

二次予防（がん検診受診率等）

		項目	全国	三重県	順位
男女		がん検診受診率 (%) (50-69歳) ※住民検診	6.5	8.4	14
		精検受診率(エックス線) (%) (50-74歳) ※住民検診	77.9	66.7	43
男		精検受診率(内視鏡) (%) (50-74歳) ※住民検診	93.0	95.2	18
		がん検診受診率 (%) (50-69歳) ※職域等含む	47.5	46.5	31
女		精検受診率(エックス線) (%) (50-74歳) ※住民検診	84.3	77.8	43
		精検受診率(内視鏡) (%) (50-74歳) ※住民検診	94.7	96.4	20
		がん検診受診率 (%) (50-69歳) ※職域等含む	36.5	35.8	30

医療提供体制（専門医）

		項目	全国	三重県	順位
消化器病専門医 (人)			20,268	327	-
		同 (人口10万対) (人)	16.1	18.5	16
消化器外科専門医 (人)			7,653	124	-
		同 (人口10万対) (人)	6.1	7.0	15
消化器内視鏡専門医 (人)			15,535	160	-
		同 (人口10万対) (人)	12.3	9.0	42
放射線科専門医 (人)			6,612	83	-
		同 (人口10万対) (人)	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医 (人)			1,314	13	-
		同 (人口10万対) (人)	1.0	0.7	31

罹患状況・治療実績

胃がんの罹患状況

		項目	全国	三重県	順位
男		がん登録数 (人)	85,325	1,096	-
		年齢調整罹患率[4年平均]	68.2	61.9	12
		SIR[4年間]	100	90.8	12
女		がん登録数 (人)	38,994	512	-
		年齢調整罹患率[4年平均]	60.2	56.2	12
		SIR[4年間]	100	89.8	10

胃がんの早期発見状況

		項目	全国	三重県	順位
発見経緯		がん検診・健康診断・人間ドック	19.3	23.2	9
		他疾患の経過観察中	35.8	30.3	43
		その他	42.4	44.8	14
進行度		限局 (%)	59.6	56.5	35
		所属リンパ節転移 (%)	9.7	10.8	11
		隣接臓器浸潤 (%)	7.7	8.6	10
		遠隔転移 (%)	16.9	17.5	17
		不明 (%)	6.1	6.6	15

胃がんにかかる治療実績

		項目	全国	三重県	順位
胃切除術 (悪性腫瘍手術)	入院	SCR	100	161.9	4
	入院	SCR	100	68.3	44
腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍手術)	入院	SCR	100	89.9	29
	入院	SCR	100	112.4	15
胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	入院	SCR	100	49.1	44
	入院	SCR	100	75.5	44
胃がんを主病名とする治療	入院	SCR	100	54.5	45
	入院外	SCR	100	54.5	45
胃がんに対する放射線治療	入院	SCR	100	95.3	31
	入院外	SCR	100	88.8	34
胃がんに対する化学療法	入院	SCR	100	59.0	41
	入院外	SCR	100	49.3	41

死亡状況

胃がんによる死亡状況

		項目	全国	三重県	順位
男		死亡数 (人)	27,196	412	-
		75歳未満年齢調整死亡率[5年平均]	10.7	10.8	22
		SMR[5年間]	100	96.4	18
女		死亡数 (人)	14,428	203	-
		75歳未満年齢調整死亡率[5年平均]	4.2	4.3	23
		SMR[5年間]	100	100.0	22

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、大腸がんの罹患・死亡に関しての全国での特徴的な地域エリアには含まれていない（なお、胃がんのリスク因子であるピロリ菌の都道府県ごとの保有率は不明）
- 胃がんに関しては、罹患率は全国上位にある一方で、死亡率は男女とも全国並みとなっており、**罹患後に死亡にいたるケースが全国よりも高い状況**にある
- その原因として、全国に比べて、**比較的進行した状態で胃がんが発見される傾向**にあることが考えられる
- 消化器にかかる**専門医は内科・外科とも比較的充実**しており、一部の手術についての高い治療実績につながっていると考えられる
- 胃がん検診に関して、住民検診については全国上位ではあるものの、職域や人間ドックも含めたがん検診では平均以下、さらに精検受診率も全国下位となっており、**検診や精検の受診率の向上による、胃がんの早期発見が、死亡率低減に向けての課題**と考えられる

膵がんの死亡率の要因分析

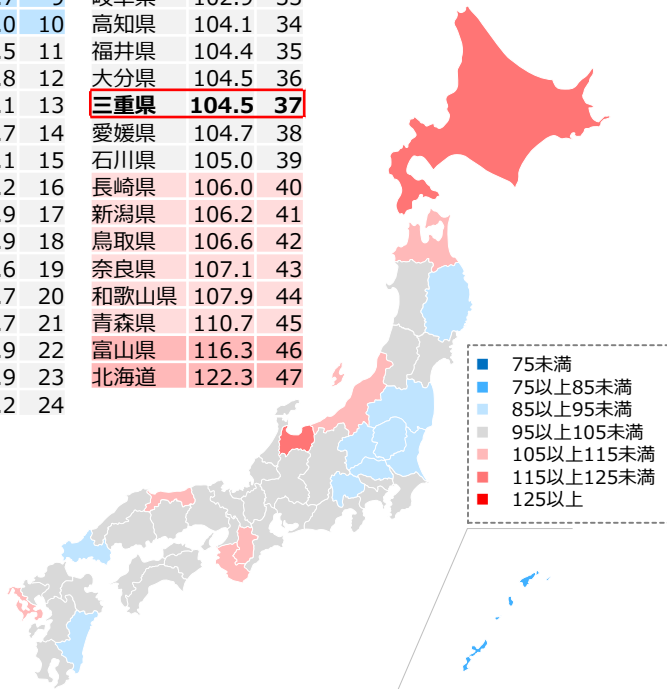


膵がん（男性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、北海道、青森県、富山県で高くなっている。
- 一方、北関東の一部と沖縄県では罹患・死亡とも低くなっている。

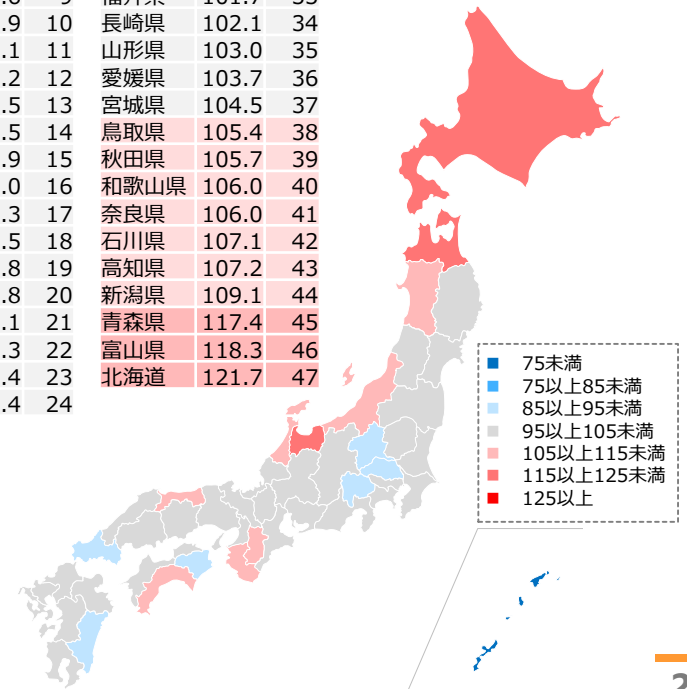
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	79.2	1	広島県	100.2	25
群馬県	86.6	2	東京都	100.8	26
岩手県	89.5	3	熊本県	100.9	27
埼玉県	91.7	4	岡山県	101.1	28
栃木県	91.7	5	大阪府	101.5	29
宮崎県	91.9	6	秋田県	101.8	30
山口県	92.4	7	宮城県	102.4	31
茨城県	92.5	8	京都府	102.7	32
山梨県	92.7	9	岐阜県	102.9	33
福島県	94.0	10	高知県	104.1	34
徳島県	95.5	11	福井県	104.4	35
佐賀県	95.8	12	大分県	104.5	36
千葉県	96.1	13	三重県	104.5	37
兵庫県	96.7	14	愛媛県	104.7	38
愛知県	97.1	15	石川県	105.0	39
鹿児島県	97.2	16	長崎県	106.0	40
香川県	97.9	17	新潟県	106.2	41
長野県	98.9	18	鳥取県	106.6	42
島根県	99.6	19	奈良県	107.1	43
神奈川県	99.7	20	和歌山県	107.9	44
山形県	99.7	21	青森県	110.7	45
静岡県	99.9	22	富山県	116.3	46
滋賀県	99.9	23	北海道	122.3	47
福岡県	100.2	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	73.5	1	滋賀県	99.4	25
群馬県	86.9	2	大阪府	99.8	26
宮崎県	89.6	3	東京都	100.0	27
山口県	91.3	4	福島県	100.6	28
徳島県	92.1	5	三重県	100.7	29
埼玉県	93.1	6	静岡県	100.8	30
山梨県	94.0	7	福岡県	101.3	31
兵庫県	95.4	8	大分県	101.4	32
千葉県	95.6	9	福井県	101.7	33
鹿児島県	95.9	10	長崎県	102.1	34
香川県	96.1	11	山形県	103.0	35
栃木県	96.2	12	愛媛県	103.7	36
茨城県	96.5	13	宮城県	104.5	37
広島県	96.5	14	鳥取県	105.4	38
岩手県	97.9	15	秋田県	105.7	39
京都府	98.0	16	和歌山県	106.0	40
熊本県	98.3	17	奈良県	106.0	41
佐賀県	98.5	18	石川県	107.1	42
岡山県	98.8	19	高知県	107.2	43
岐阜県	98.8	20	新潟県	109.1	44
長野県	99.1	21	青森県	117.4	45
神奈川県	99.3	22	富山県	118.3	46
島根県	99.4	23	北海道	121.7	47
愛知県	99.4	24			

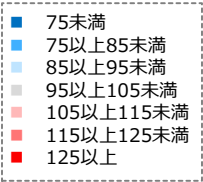
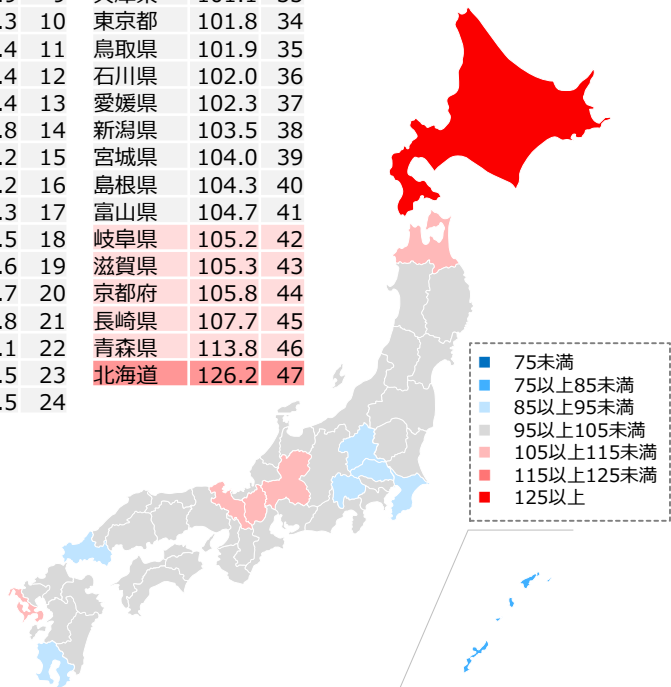


膵がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、北海道と青森県で高くなっている。
- 一方、北関東の一部と鹿児島、沖縄県では罹患・死亡とも低くなっている。

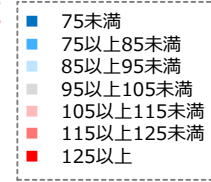
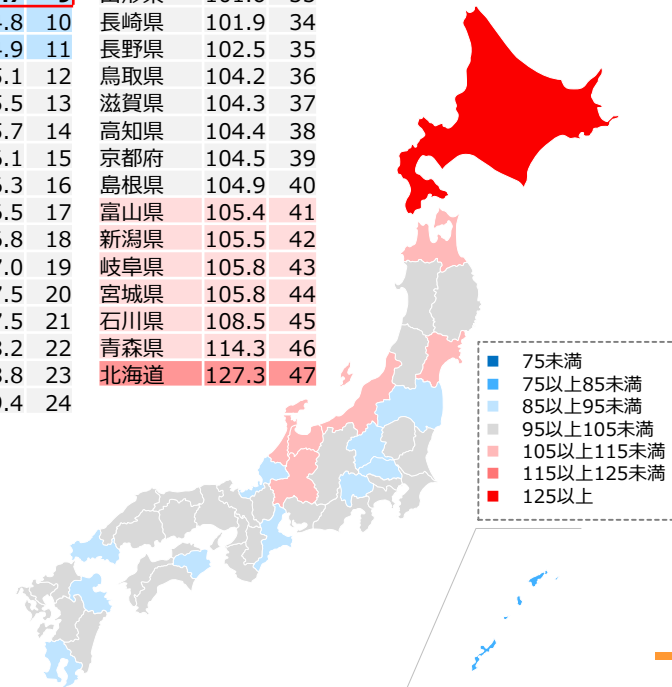
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	75.9	1	長野県	98.6	25
鹿児島県	87.7	2	福岡県	98.6	26
埼玉県	91.6	3	大阪府	99.0	27
山口県	91.6	4	熊本県	99.1	28
群馬県	93.0	5	高知県	99.4	29
千葉県	94.2	6	神奈川県	100.1	30
山梨県	94.6	7	広島県	100.6	31
三重県	95.4	8	奈良県	100.6	32
福島県	95.9	9	兵庫県	101.1	33
静岡県	96.3	10	東京都	101.8	34
福井県	96.4	11	鳥取県	101.9	35
山形県	96.4	12	石川県	102.0	36
大分県	96.4	13	愛媛県	102.3	37
秋田県	96.8	14	新潟県	103.5	38
愛知県	97.2	15	宮城県	104.0	39
佐賀県	97.2	16	島根県	104.3	40
栃木県	97.3	17	富山県	104.7	41
和歌山県	97.5	18	岐阜県	105.2	42
徳島県	97.6	19	滋賀県	105.3	43
宮崎県	97.7	20	京都府	105.8	44
茨城県	97.8	21	長崎県	107.7	45
香川県	98.1	22	青森県	113.8	46
岩手県	98.5	23	北海道	126.2	47
岡山県	98.5	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
沖縄県	78.2	1	岩手県	99.6	25
鹿児島県	89.4	2	秋田県	99.6	26
山口県	90.2	3	神奈川県	99.8	27
徳島県	93.1	4	岡山県	99.8	28
埼玉県	93.9	5	福岡県	100.4	29
福井県	94.1	6	東京都	101.1	30
山梨県	94.4	7	宮崎県	101.4	31
群馬県	94.6	8	佐賀県	101.5	32
三重県	94.7	9	山形県	101.6	33
大分県	94.8	10	長崎県	101.9	34
福島県	94.9	11	長野県	102.5	35
和歌山県	95.1	12	鳥取県	104.2	36
奈良県	95.5	13	滋賀県	104.3	37
大阪府	95.7	14	高知県	104.4	38
千葉県	96.1	15	京都府	104.5	39
熊本県	96.3	16	島根県	104.9	40
静岡県	96.5	17	富山県	105.4	41
愛媛県	96.8	18	新潟県	105.5	42
栃木県	97.0	19	岐阜県	105.8	43
愛知県	97.5	20	宮城県	105.8	44
兵庫県	97.5	21	石川県	108.5	45
茨城県	98.2	22	青森県	114.3	46
香川県	98.8	23	北海道	127.3	47
広島県	99.4	24			



膵がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）				
	項目	全国	三重県	順位
男	喫煙率（%）	25.4	25.9	28
	週5日以上の飲酒割合（%）	33.0	29.4	44
	特定健診での肥満割合（%）	21.0	20.7	25
女	喫煙率（%）	7.7	6.7	30
	週5日以上の飲酒割合（%）	11.3	9.1	44
	特定健診での肥満割合（%）	35.8	35.0	30
男女	特定健診受診率（%）	56.2	59.3	11
	特定保健指導実施率（%）	24.7	23.7	34

検査実績				
項目		全国	三重県	順位
胃・十二指腸ファイバースコープ	入院	100	74.2	44
	SCR			
胆管・膵管造影法加算（検査）	入院	100	61.1	46

医療提供体制（専門医）			
項目	全国	三重県	順位
消化器病専門医（人）	20,268	327	-
同（人口10万対）（人）	16.1	18.5	16
消化器外科専門医（人）	7,653	124	-
同（人口10万対）（人）	6.1	7.0	15
消化器内視鏡専門医（人）	15,535	160	-
同（人口10万対）（人）	12.3	9.0	42
放射線科専門医（人）	6,612	83	-
同（人口10万対）（人）	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医（人）	1,314	13	-
同（人口10万対）（人）	1.0	0.7	31

罹患状況・治療実績

膵がんの罹患状況				
	項目	全国	三重県	順位
男	がん登録数（人）	22,285	356	-
	年齢調整罹患率【4年平均】	17.1	17.9	39
	SIR【4年間】	100	104.5	37
女	がん登録数（人）	21,579	308	-
	年齢調整罹患率【4年平均】	11.8	11.4	17
	SIR【4年間】	100	95.4	8

膵がんの早期発見状況				
	項目	全国	三重県	順位
発見経緯	がん検診・健康診断・人間ドック	5.0	5.0	15
	他疾患の経過観察中	35.5	32.9	37
	その他	57.6	60.1	14
進行度	限局（%）	19.4	20.3	21
	所属リンパ節転移（%）	7.5	6.1	39
	隣接臓器浸潤（%）	20.6	21.7	15
	遠隔転移（%）	44.4	43.6	30
	不明（%）	8.1	8.2	20

膵がんにかかる治療実績				
項目		全国	三重県	順位
膵体尾部腫瘍切除術等	入院 SCR	100	102.6	23
膵頭部腫瘍切除術	入院 SCR	100	98.0	23

死亡状況

膵がんによる死亡状況				
	項目	全国	三重県	順位
男	死亡数（人）	19,334	288	-
	75歳未満年齢調整死亡率【5年平均】	8.7	9.3	40
	SMR【5年間】	100	100.5	28
女	死亡数（人）	19,245	265	-
	75歳未満年齢調整死亡率【5年平均】	5.4	5.1	10
	SMR【5年間】	100	94.6	12

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、膵がんの罹患・死亡に関しての全国での特徴的な地域エリアには含まれていない
- 膵がんは、科学的に有効性が証明された検診方法は確立されていないこともあり、発見経緯が「その他」となる割合が全国よりも高い
- また、**膵がんは進行した状態で発見される割合が高く**、特に「隣接臓器浸潤」まで進行した状態での発見は全国上位となっている
- **男性については、罹患率・死亡率とも全国下位**にあり、**女性については、罹患率・死亡率とも全国上位**となっているが、男女差が発生する要因は不明である
- 消化器にかかる**専門医は内科・外科とも比較的充実**しており、膵がんに関連する手術については全国並みの治療実績となっている
- 膵がんに係る検査実績は全国下位であり、昨年度に県内全域で開始した「膵がん早期発見プロジェクト」に代表されるような**早期発見の取組推進が課題**

肝がんの死亡率の要因分析

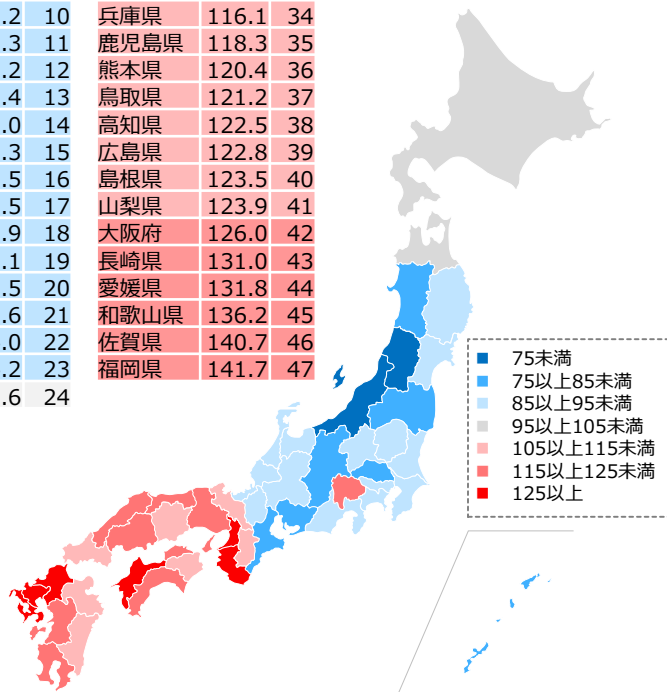


肝がん（男性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、西日本で高くなっている。
- 一方、東日本で罹患・死亡とも低くなっている。

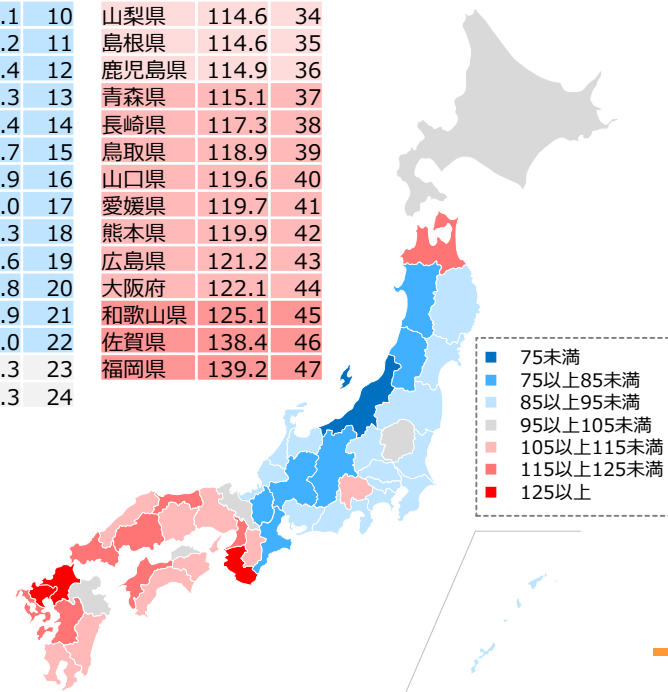
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
新潟県	67.5	1	北海道	101.2	25
山形県	69.0	2	京都府	105.6	26
長野県	76.3	3	奈良県	106.4	27
秋田県	78.8	4	大分県	107.9	28
福島県	82.4	5	山口県	108.5	29
沖縄県	82.7	6	徳島県	112.1	30
三重県	83.9	7	岡山県	112.2	31
埼玉県	84.3	8	宮崎県	114.5	32
愛知県	84.8	9	香川県	115.4	33
宮城県	85.2	10	兵庫県	116.1	34
岐阜県	85.3	11	鹿児島県	118.3	35
群馬県	86.2	12	熊本県	120.4	36
石川県	86.4	13	鳥取県	121.2	37
神奈川県	87.0	14	高知県	122.5	38
千葉県	88.3	15	広島県	122.8	39
岩手県	88.5	16	島根県	123.5	40
茨城県	88.5	17	山梨県	123.9	41
福井県	91.9	18	大阪府	126.0	42
富山県	92.1	19	長崎県	131.0	43
東京都	92.5	20	愛媛県	131.8	44
栃木県	92.6	21	和歌山県	136.2	45
静岡県	94.0	22	佐賀県	140.7	46
滋賀県	94.2	23	福岡県	141.7	47
青森県	96.6	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
新潟県	72.4	1	北海道	104.5	25
長野県	76.4	2	大分県	104.7	26
山形県	78.3	3	香川県	104.9	27
秋田県	79.0	4	奈良県	105.6	28
滋賀県	80.2	5	高知県	108.2	29
岐阜県	84.2	6	岡山県	108.5	30
三重県	84.7	7	宮崎県	112.5	31
沖縄県	85.6	8	徳島県	113.8	32
石川県	85.7	9	兵庫県	113.8	33
埼玉県	86.1	10	山梨県	114.6	34
神奈川県	88.2	11	島根県	114.6	35
東京都	88.4	12	鹿児島県	114.9	36
福島県	90.3	13	青森県	115.1	37
福井県	90.4	14	長崎県	117.3	38
愛知県	90.7	15	鳥取県	118.9	39
富山県	90.9	16	山口県	119.6	40
千葉県	91.0	17	愛媛県	119.7	41
宮城県	91.3	18	熊本県	119.9	42
静岡県	93.6	19	広島県	121.2	43
茨城県	93.8	20	大阪府	122.1	44
岩手県	94.9	21	和歌山県	125.1	45
群馬県	95.0	22	佐賀県	138.4	46
栃木県	98.3	23	福岡県	139.2	47
京都府	99.3	24			

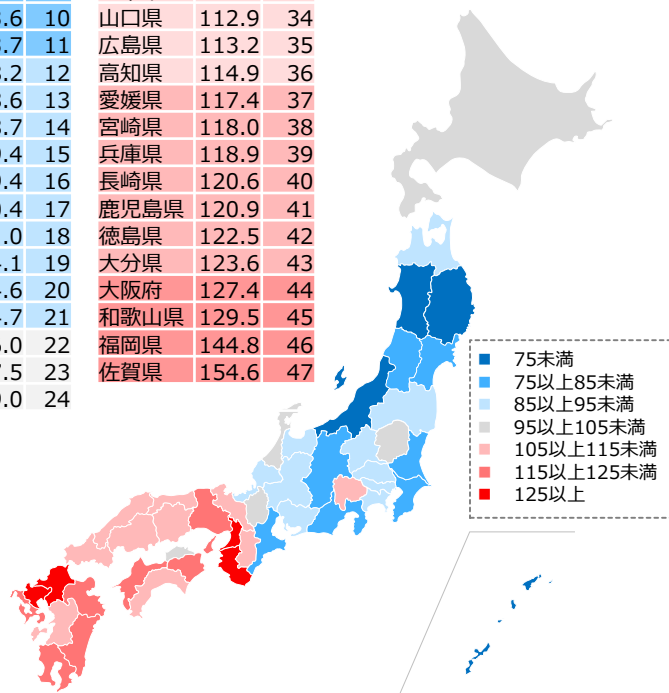


肝がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、西日本で高くなっている。
- 一方、東日本で罹患・死亡とも低くなっている。

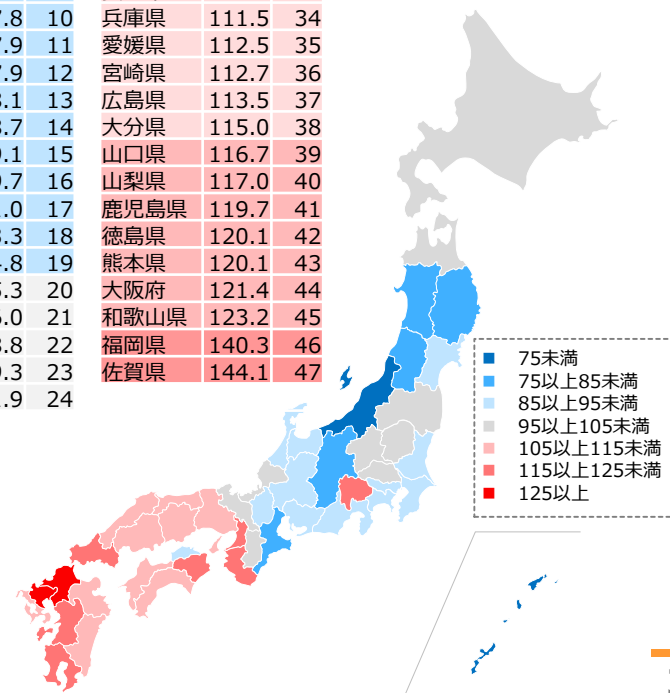
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
新潟県	65.0	1	栃木県	99.2	25
沖縄県	68.7	2	香川県	103.5	26
秋田県	69.6	3	岡山県	108.1	27
岩手県	74.6	4	京都府	108.7	28
山形県	76.5	5	奈良県	109.4	29
静岡県	81.1	6	島根県	110.5	30
長野県	81.4	7	鳥取県	110.9	31
三重県	81.9	8	熊本県	112.7	32
千葉県	82.8	9	山梨県	112.8	33
茨城県	83.6	10	山口県	112.9	34
宮城県	83.7	11	広島県	113.2	35
愛知県	88.2	12	高知県	114.9	36
富山県	88.6	13	愛媛県	117.4	37
神奈川県	88.7	14	宮崎県	118.0	38
東京都	89.4	15	兵庫県	118.9	39
岐阜県	89.4	16	長崎県	120.6	40
福島県	90.4	17	鹿児島県	120.9	41
埼玉県	91.0	18	徳島県	122.5	42
群馬県	94.1	19	大分県	123.6	43
青森県	94.6	20	大阪府	127.4	44
福井県	94.7	21	和歌山県	129.5	45
石川県	96.0	22	福岡県	144.8	46
滋賀県	97.5	23	佐賀県	154.6	47
北海道	99.0	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
新潟県	63.8	1	福井県	102.6	25
沖縄県	74.8	2	京都府	104.2	26
秋田県	76.8	3	群馬県	104.2	27
山形県	79.3	4	青森県	104.9	28
長野県	80.1	5	鳥取県	108.3	29
岩手県	83.1	6	岡山県	108.4	30
三重県	83.4	7	高知県	109.2	31
富山県	85.2	8	島根県	109.3	32
東京都	87.3	9	長崎県	109.4	33
茨城県	87.8	10	兵庫県	111.5	34
香川県	87.9	11	愛媛県	112.5	35
神奈川県	87.9	12	宮崎県	112.7	36
千葉県	88.1	13	広島県	113.5	37
静岡県	88.7	14	大分県	115.0	38
岐阜県	89.1	15	山口県	116.7	39
石川県	89.7	16	山梨県	117.0	40
宮城県	91.0	17	鹿児島県	119.7	41
愛知県	93.3	18	徳島県	120.1	42
滋賀県	94.8	19	熊本県	120.1	43
埼玉県	95.3	20	大阪府	121.4	44
福島県	96.0	21	和歌山県	123.2	45
栃木県	98.8	22	福岡県	140.3	46
奈良県	99.3	23	佐賀県	144.1	47
北海道	101.9	24			



肝がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）

	項目	全国	三重県	順位
男	喫煙率 (%)	25.4	25.9	28
	週5日以上の飲酒割合 (%)	33.0	29.4	44
	特定健診での肥満割合 (%)	21.0	20.7	25
	特定健診でのGOT (AST) 31IU/L以上の割合 (%)	16.9	16.1	38
	特定健診でのGPT (ALT) 31IU/L以上の割合 (%)	27.6	26.8	33
	女	喫煙率 (%)	7.7	6.7
週5日以上の飲酒割合 (%)		11.3	9.1	44
特定健診での肥満割合 (%)		35.8	35.0	30
特定健診でのGOT (AST) 31IU/L以上の割合 (%)		7.6	7.9	19
特定健診でのGPT (ALT) 31IU/L以上の割合 (%)		8.9	9.0	22
男女		特定健診受診率 (%)	56.2	59.3
	特定保健指導実施率 (%)	24.7	23.7	34
	B型肝炎ウイルス検診(40歳検診)受診率 (%)	6.4	8.2	16
	C型肝炎ウイルス検診(40歳検診)受診率 (%)	6.4	8.2	16
	B型・C型肝炎ウイルス同時検診(40歳検診)受診率 (%)	6.3	8.2	16
	B型肝炎ウイルス検診陽性率 (%)	0.55	0.34	42
	C型肝炎ウイルス検診陽性の可能性が高い人の割合 (%)	0.19	0.08	42

医療提供体制（専門医）

	項目	全国	三重県	順位
消化器病専門医 (人)		20,268	327	-
	同 (人口10万対) (人)	16.1	18.5	16
消化器外科専門医 (人)		7,653	124	-
	同 (人口10万対) (人)	6.1	7.0	15
消化器内視鏡専門医 (人)		15,535	160	-
	同 (人口10万対) (人)	12.3	9.0	42
肝臓専門医 (人)		6,453	69	-
	同 (人口10万対) (人)	5.1	6.2	18
放射線科専門医 (人)		6,612	83	-
	同 (人口10万対) (人)	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医 (人)		1,314	13	-
	同 (人口10万対) (人)	1.0	0.7	31

罹患状況・治療実績

肝がんの罹患状況

	項目	全国	三重県	順位
男	がん登録数 (人)	25,339	319	-
	年齢調整罹患率[4年平均]	20.6	17.2	6
	SIR[4年間]	100	83.9	7
女	がん登録数 (人)	11,957	151	-
	年齢調整罹患率[4年平均]	6.7	5.6	10
	SIR[4年間]	100	81.9	8

肝がんの早期発見状況

	項目	全国	三重県	順位
発見経緯	がん検診・健康診断・人間ドック	4.3	4.8	15
	他疾患の経過観察中	60.5	59.5	27
	その他	30.0	32.8	12
進行度	限局 (%)	61.1	58.1	36
	所属リンパ節転移 (%)	2.6	2.2	33
	隣接臓器浸潤 (%)	8.7	11.2	6
	遠隔転移 (%)	12.7	15.0	8
	不明 (%)	14.9	13.4	30

肝がんにかかる治療実績

	項目	全国	三重県	順位	
肝門部胆管悪性腫瘍手術	入院	SCR	100	61.7	43
	入院外	SCR	100	64.3	47
肝切除術	入院	SCR	100	107.7	17
肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法等	入院	SCR	100	65.8	46
	入院外	SCR	100	46.6	46
肝がんに対する放射線治療	入院	SCR	100	80.3	35
	入院外	SCR	100	83.5	37
肝がんに対する化学療法	入院	SCR	100	104.2	25
	入院外	SCR	100	91.9	26

死亡状況

肝がんによる死亡状況

	項目	全国	三重県	順位
男	死亡数 (人)	15,913	202	-
	75歳未満年齢調整死亡率[5年平均]	6.6	5.3	7
	SMR[5年間]	100	84.7	7
女	死亡数 (人)	8,189	118	-
	75歳未満年齢調整死亡率[5年平均]	1.7	1.6	14
	SMR[5年間]	100	83.4	7

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、肝がんの罹患・死亡に関しての全国で傾向が分かれる東日本と西日本の境目にあり、**罹患・死亡とも低位な地域エリアに含まれている**
- 肝がんのリスク要因となる生活習慣に関しては、**飲酒習慣や肝炎に関する項目が全国的に良好**となっている
- 肝がんは、科学的に有効性が証明された検診方法は確立されていないこともあり、発見経緯が「その他」となる割合が全国よりも高い
- また、進行度について、「隣接臓器浸潤」や「遠隔転移」などの進行した状態で発見される割合は全国上位となっている
- 発見経緯や発見時の進行度に課題はあるものの、地理的要因やリスク要因の状況から本県においては、男女とも、**肝がんの罹患が全国と比べ低く抑えられるとともに、そのまま死亡率も低位**となっている

乳がんの死亡率の要因分析

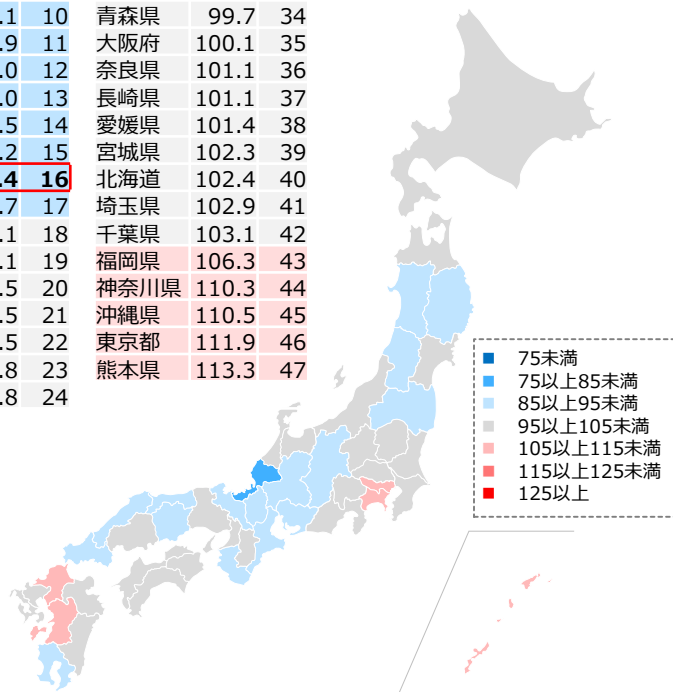


乳がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、東京・神奈川の首都圏で高く、死亡に関しては北海道・青森も高い。
- 一方、東北、中部、近畿、中国地方にかけて罹患・死亡とも低い県が多い。

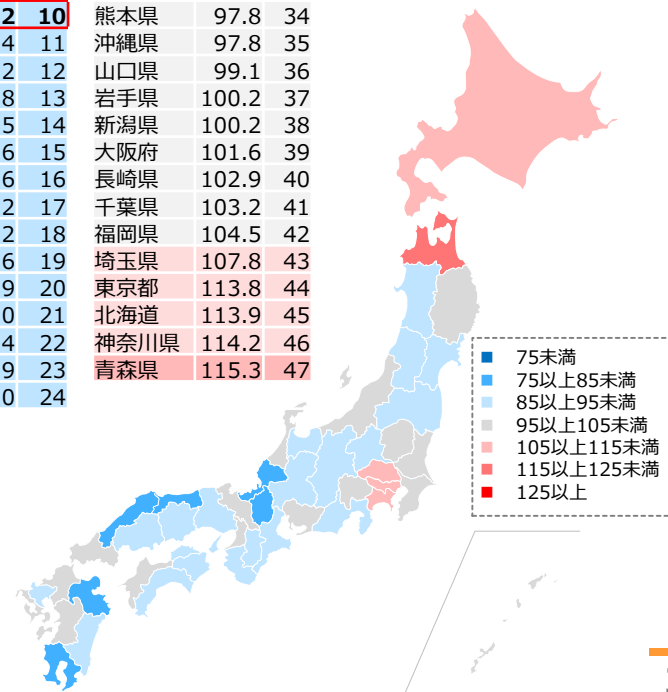
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
福井県	82.4	1	高知県	96.1	25
滋賀県	86.8	2	香川県	96.4	26
島根県	87.0	3	静岡県	96.7	27
秋田県	87.5	4	広島県	96.9	28
山形県	89.0	5	群馬県	97.7	29
福島県	89.1	6	山梨県	98.1	30
山口県	90.0	7	富山県	98.2	31
岐阜県	90.4	8	佐賀県	98.2	32
愛知県	90.5	9	兵庫県	98.6	33
鳥取県	91.1	10	青森県	99.7	34
長野県	91.9	11	大阪府	100.1	35
鹿児島県	92.0	12	奈良県	101.1	36
和歌山県	92.0	13	長崎県	101.1	37
岩手県	92.5	14	愛媛県	101.4	38
岡山県	94.2	15	宮城県	102.3	39
三重県	94.4	16	北海道	102.4	40
京都府	94.7	17	埼玉県	102.9	41
石川県	95.1	18	千葉県	103.1	42
徳島県	95.1	19	福岡県	106.3	43
大分県	95.5	20	神奈川県	110.3	44
新潟県	95.5	21	沖縄県	110.5	45
栃木県	95.5	22	東京都	111.9	46
宮崎県	95.8	23	熊本県	113.3	47
茨城県	95.8	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
島根県	75.9	1	静岡県	94.1	25
滋賀県	79.4	2	宮城県	95.0	26
大分県	81.6	3	山梨県	95.4	27
福井県	82.8	4	京都府	96.1	28
鹿児島県	83.4	5	栃木県	96.2	29
鳥取県	84.2	6	愛媛県	96.5	30
香川県	85.1	7	石川県	97.3	31
宮崎県	85.5	8	茨城県	97.6	32
山形県	85.7	9	愛知県	97.7	33
三重県	87.2	10	熊本県	97.8	34
和歌山県	87.4	11	沖縄県	97.8	35
長野県	88.2	12	山口県	99.1	36
高知県	88.8	13	岩手県	100.2	37
徳島県	89.5	14	新潟県	100.2	38
秋田県	90.6	15	大阪府	101.6	39
富山県	90.6	16	長崎県	102.9	40
佐賀県	91.2	17	千葉県	103.2	41
岡山県	91.2	18	福岡県	104.5	42
福島県	91.6	19	埼玉県	107.8	43
奈良県	92.9	20	東京都	113.8	44
兵庫県	93.0	21	北海道	113.9	45
岐阜県	93.4	22	神奈川県	114.2	46
群馬県	93.9	23	青森県	115.3	47
広島県	94.0	24			



乳がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）

項目		全国	三重県	順位
女	喫煙率 (%)	7.7	6.7	30
	週5日以上の飲酒割合 (%)	11.3	9.1	44
	特定健診での肥満割合 (%)	35.8	35.0	30
	運動を心がけている割合 (%)	35.5	34.3	23
	合計特殊出生率 (%)	1.30	1.43	18
男女	特定健診受診率 (%)	56.2	59.3	11
	特定保健指導実施率 (%)	24.7	23.7	34

二次予防（がん検診受診率等）

項目		全国	三重県	順位
女	がん検診受診率 (%) (40-69歳) ※住民検診	15.4	17.0	21
	精検受診率 (%) (40-74歳) ※住民検診	89.5	86.7	39
	がん検診受診率 (%) (40-69歳) ※職域等含む	47.4	51.5	11

検査実績

項目		全国	三重県	順位
マンモグラフィ	入院 外 SCR	100	104.6	17
乳腺穿刺又は針生検		100	124.9	10
組織試験採取、切探法 (乳腺)		100	91.9	18

医療提供体制（専門医）

項目	全国	三重県	順位
乳腺専門医 (人)	1,606	17	-
同 (人口10万対) (人)	1.3	1.0	34
婦人科腫瘍専門医 (人)	870	9	-
同 (人口10万対) (人)	0.7	0.5	29
放射線科専門医 (人)	6,612	83	-
同 (人口10万対) (人)	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医 (人)	1,314	13	-
同 (人口10万対) (人)	1.00	0.7	31

罹患状況・治療実績

乳がんの罹患状況

項目		全国	三重県	順位
女	がん登録数 (人)	97,142	1,236	-
	年齢調整罹患率[4年平均]	99.7	93.4	13
	SIR[4年間]	100	94.4	16

乳がんの早期発見状況

項目		全国	三重県	順位
発見経緯	がん検診・健康診断・人間ドック	24.9	25.7	17
	他疾患の経過観察中	15.2	15.0	25
	その他	54.6	55.2	24
進行度	限局 (%)	60.5	64.8	3
	所属リンパ節転移 (%)	21.0	20.7	27
	隣接臓器浸潤 (%)	4.1	4.9	8
	遠隔転移 (%)	6.4	3.9	46
	不明 (%)	8.0	5.6	41

乳がんにかかる治療実績

項目		全国	三重県	順位	
乳腺悪性腫瘍手術	入院	SCR	100	86.0	37
	入院外	SCR	100	77.0	45
乳がんを主病名とする治療	入院	SCR	100	52.2	45
	入院外	SCR	100	70.7	36
乳がんに対する放射線治療	入院	SCR	100	58.6	47
	入院外	SCR	100	90.1	34
乳がんに対する化学療法	入院	SCR	100	93.4	24
	入院外	SCR	100		

死亡状況

乳がんによる死亡状況

項目		全国	三重県	順位
女	死亡数 (人)	14,803	170	-
	75歳未満年齢調整 死亡率[5年平均]	10.4	8.5	3
	SMR[5年間]	100	87.2	10

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、乳がんの罹患・死亡に関しての**全国で低位となっている地域エリアに含まれている**
- 乳がんのリスク要因となる生活習慣に関しては、**飲酒習慣が全国的に良好**となっている
- 乳がん検診の受診率や検査実績は比較的高く、発見時の進行度が限局に留まる割合が高くなっていることから、**検診・検査を契機として乳がんの早期発見につながっている**
- この結果、乳がんの罹患率は全国でも低位にあるが、それ以上に死亡率は全国的に低くなっており、**早期発見が死亡率の低下の要因になっている**と考えられる
- 一方で、乳がんの治療実績は全国と比較して件数が少なめとなっており、乳腺専門医の確保・育成なども課題となり得る

子宮がんの死亡率の要因分析

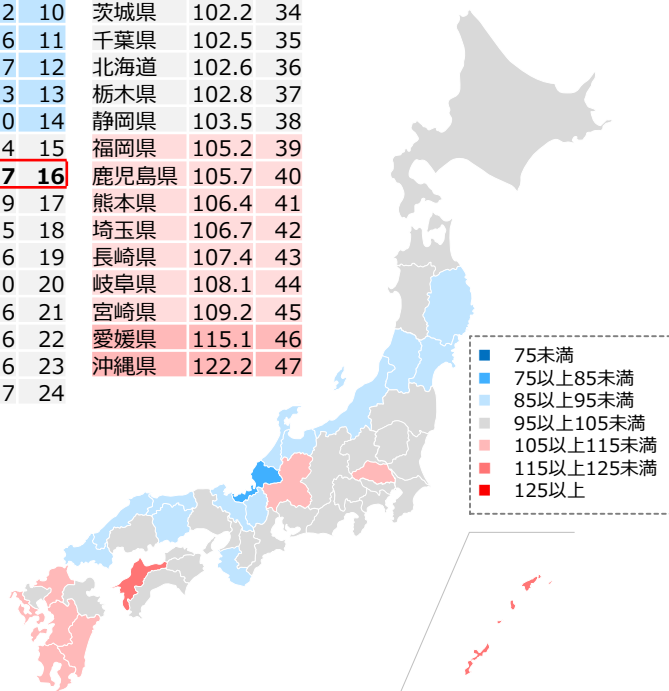


子宮がん（女性）の全国の罹患・死亡状況

- 罹患・死亡とも、九州・沖縄で高く、死亡に関しては北関東で高い。
- 一方、東北、北陸から近畿、中国地方にかけて罹患・死亡とも低い県が多い。

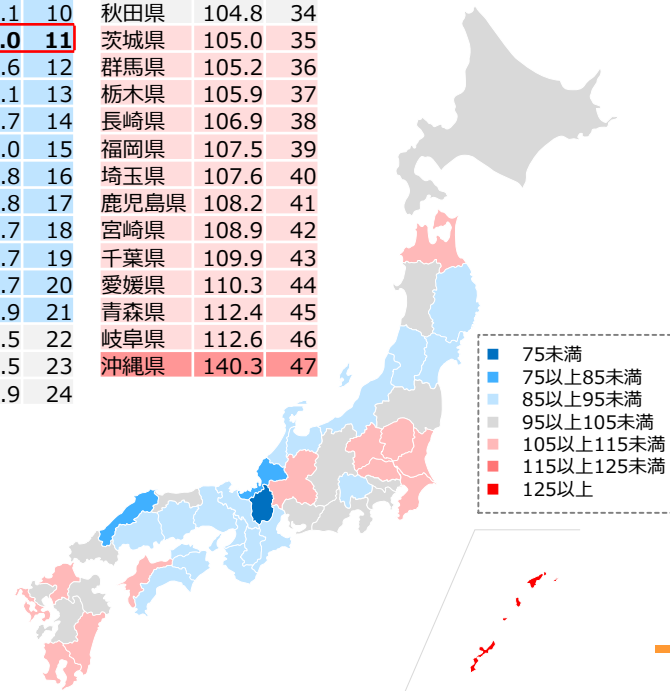
SIRによる罹患状況（2016-2019）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
福井県	81.2	1	大分県	99.8	25
宮城県	85.2	2	高知県	99.9	26
山形県	85.4	3	佐賀県	100.1	27
石川県	86.1	4	徳島県	100.4	28
新潟県	87.3	5	神奈川県	100.5	29
島根県	89.4	6	奈良県	100.7	30
富山県	89.5	7	長野県	101.0	31
岡山県	89.6	8	香川県	101.4	32
滋賀県	90.1	9	東京都	102.1	33
岩手県	91.2	10	茨城県	102.2	34
和歌山県	91.6	11	千葉県	102.5	35
京都府	92.7	12	北海道	102.6	36
鳥取県	94.3	13	栃木県	102.8	37
山口県	95.0	14	静岡県	103.5	38
山梨県	95.4	15	福岡県	105.2	39
三重県	95.7	16	鹿児島県	105.7	40
福島県	95.9	17	熊本県	106.4	41
広島県	96.5	18	埼玉県	106.7	42
兵庫県	97.6	19	長崎県	107.4	43
群馬県	98.0	20	岐阜県	108.1	44
青森県	98.6	21	宮崎県	109.2	45
愛知県	98.6	22	愛媛県	115.1	46
秋田県	99.6	23	沖縄県	122.2	47
大阪府	99.7	24			



SMRによる死亡状況（2017-2021）

都道府県	SMR	順位	都道府県	SMR	順位
滋賀県	70.8	1	大分県	100.1	25
島根県	78.5	2	山口県	100.3	26
福井県	80.8	3	東京都	102.7	27
新潟県	83.5	4	長野県	102.7	28
山梨県	86.1	5	佐賀県	103.1	29
富山県	86.3	6	愛知県	103.2	30
広島県	86.5	7	鳥取県	103.8	31
石川県	86.5	8	北海道	104.1	32
岡山県	88.1	9	静岡県	104.5	33
和歌山県	89.1	10	秋田県	104.8	34
三重県	90.0	11	茨城県	105.0	35
香川県	90.6	12	群馬県	105.2	36
奈良県	91.1	13	栃木県	105.9	37
高知県	91.7	14	長崎県	106.9	38
兵庫県	92.0	15	福岡県	107.5	39
京都府	92.8	16	埼玉県	107.6	40
大阪府	93.8	17	鹿児島県	108.2	41
山形県	94.7	18	宮崎県	108.9	42
宮城県	94.7	19	千葉県	109.9	43
徳島県	94.7	20	愛媛県	110.3	44
岩手県	94.9	21	青森県	112.4	45
熊本県	96.5	22	岐阜県	112.6	46
福島県	98.5	23	沖縄県	140.3	47
神奈川県	98.9	24			



子宮がんの死亡率に影響を与える要因分析

生活習慣・予防・体制

一次予防（生活習慣等）				
	項目	全国	三重県	順位
女	喫煙率（%）	7.7	6.7	30
	特定健診での肥満割合（%）	35.8	35.0	30
	合計特殊出生率（%）	1.30	1.43	18
男女	特定健診受診率（%）	56.2	59.3	11
	特定保健指導実施率（%）	24.7	23.7	34

二次予防（がん検診受診率等）				
	項目	全国	三重県	順位
女	子宮頸がん検診受診率（%） （20-69歳）※住民検診	15.4	18.6	9
	精検受診率（%） （20-74歳）※住民検診	74.8	76.8	14
	子宮頸がん検診受診率（%） （20-69歳）※職域等含む	43.6	47.0	14

医療提供体制（専門医）				
	項目	全国	三重県	順位
産婦人科専門医（人）		11,894	163	-
	同（人口10万対）（人）	9.4	9.2	24
婦人科腫瘍専門医（人）		870	9	-
	同（人口10万対）（人）	0.7	0.5	29
放射線科専門医（人）		6,612	83	-
	同（人口10万対）（人）	5.2	4.7	32
がん薬物療法専門医（人）		1,314	13	-
	同（人口10万対）（人）	1.00	0.7	31

罹患状況・治療実績

子宮がんの罹患状況				
	項目	全国	三重県	順位
女	がん登録数（人）	29,136	362	-
	年齢調整罹患率【4年平均】	33.7	32.9	17
	SIR【4年間】	100	95.7	16

子宮がんの早期発見状況				
	項目	全国	三重県	順位
発見経緯	がん検診・健康診断・人間ドック	12.2	12.5	23
	他疾患の経過観察中	19.0	17.0	34
	その他	65.7	68.0	13
進行度	限局（%）	57.4	60.4	4
	所属リンパ節転移（%）	3.7	4.7	8
	隣接臓器浸潤（%）	22.3	23.4	17
	遠隔転移（%）	10.1	7.0	44
	不明（%）	6.5	4.5	40

子宮がんにかかる治療実績						
	項目	全国	三重県	順位		
子宮悪性腫瘍手術	入院	SCR	100	89.9	31	
	子宮頸部切除術	入院	SCR	100	91.9	33
	子宮全摘術	入院	SCR	100	94.3	32

死亡状況

子宮がんによる死亡状況				
	項目	全国	三重県	順位
女	死亡数（人）	6,818	85	-
	75歳未満年齢調整死亡率【5年平均】	4.9	4.3	9
	SMR【5年間】	100	90.0	11

青字：全国上位1/3に該当するポジティブ項目
赤字：全国下位1/3に該当するネガティブ項目

- 本県は、子宮がんの死亡に関しての**全国で低位となっている地域エリアに含まれている**
- 子宮頸がん検診の受診率や精検受診率は比較的高く、発見時の進行度が限局に留まる割合が高くなっていることから、**検診・検査を契機として乳がんの早期発見につながっている**
- この結果、子宮がんの罹患率は全国とほぼ同程度であるが、死亡率は全国的に低位となっており、**早期発見が死亡率の低下の要因になっている**と考えられる

- 死亡率が全国的に低い水準となっている要因はがん種によりさまざまであるが、**罹患率自体が低位であるがんや、早期発見がなされるがんが本県に多いこと**が直接的な要因であると考えられる
- また、地理的要因や生活習慣等の状況を見ると、**三重県は罹患率や死亡率に影響を及ぼすようなネガティブな要素が少ない**ことも、死亡率を下げる一因になっているのではないかと考えられる

○：全国でポジティブな項目 ×：全国でネガティブな項目

がん種		地理的要因	生活習慣等	検診・検査	罹患	早期発見	死亡
肺がん	男						○
	女					○	○
大腸がん	男		○	○	○		○
	女		○	○		○	
胃がん	男				○		
	女				○	×	
膵がん	男				×		×
	女				○	×	○
肝がん	男		○		○		○
	女	○	○		○	×	○
乳がん	女	○		○	○	○	○
子宮がん	女	○		○		○	○

- 把握可能なデータに限界があるため、個々の要因と罹患率や死亡率との因果関係を証明できるものではないことに留意が必要
- また、把握可能なデータに隠れている要因（ファクター X）が存在する可能性もある
- 医療提供体制については、罹患状況により診療実績も変動することから、診療実績の全国比較だけで体制の充実度や死亡率との相関関係を評価することが困難である
- 今後、全国がん登録のデータがさらに蓄積されれば、本県の生存率データも他県と比較可能な形で整備されることが見込まれており、更なる詳細分析やがん診療の充実度の分析なども期待される
- 一部のがんで見られる地理的要因が生じる根本原因の分析・特定にまで至っていないので、今後の課題となる
- 今回は、県全体を対象にデータ分析を行ったもので、二次医療圏や構想区域別の分析まで行えていないため、県内の地域差の把握は今後の課題となる

(参考) 要因分析に使用したデータの出典一覧

カテゴリー	指標	出典
生活習慣等	喫煙率 (%)	国民生活基礎調査 (令和4年)
	特定健診受診率 (%)	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (令和3年度)
	特定保健指導実施率 (%)	特定健康診査・特定保健指導に関するデータ (令和3年度)
	週5日以上飲酒割合 (%)	国民生活基礎調査 (令和4年)
	特定健診での肥満割合 (40-74歳) (%)	第7回NDBオープンデータ (令和2年度)
	運動を心がけている割合 (%)	国民生活基礎調査 (令和4年)
	バランスのとれた食事を心がけている割合 (%)	国民生活基礎調査 (令和4年)
	うす味を心がけている割合 (%)	国民生活基礎調査 (令和4年)
	食塩摂取量 (g/日)	国民健康・栄養調査 (平成28年)
	B型肝炎ウイルス検診陽性率 (%)	地域保健・健康増進報告 (令和3年度)
	C型肝炎ウイルス検診陽性の可能性が高い人の割合 (%)	地域保健・健康増進報告 (令和3年度)
	B型肝炎ウイルス検診(40歳検診)受診率 (%)	地域保健・健康増進報告 (令和3年度)
	C型肝炎ウイルス検診(40歳検診)受診率 (%)	地域保健・健康増進報告 (令和3年度)
	B型・C型肝炎ウイルス同時検診(40歳検診)受診率 (%)	地域保健・健康増進報告 (令和3年度)
	特定健診でのGOT (AST) 31IU/L以上の割合 (%)	第7回NDBオープンデータ (令和2年度)
特定健診でのGGT (AST) 31IU/L以上の割合 (%)	第7回NDBオープンデータ (令和2年度)	
特定健診でのGPT (ALT) 31IU/L以上の割合 (%)	第7回NDBオープンデータ (令和2年度)	
特定健診でのGPT (ALT) 31IU/L以上の割合 (%)	第7回NDBオープンデータ (令和2年度)	
合計特殊出生率	人口動態調査 (令和3年)	
検診	がん検診受診率 (%) ※住民検診	地域保健・健康増進報告 (令和3年度)
	精検受診率 (%) ※住民検診	地域保健・健康増進報告 (令和2年度)
	がん検診受診率 (%) ※職域等を含む	国民生活基礎調査 (令和4年)
検査	胃・十二指腸ファイバースコープ	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	胆管・膵管造影法加算 (検査)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	乳腺穿刺又は針生検	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	組織試験採取、切探法 (乳腺)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	マンモグラフィ (乳房撮影の写真診断)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
医療提供体制	呼吸器専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	呼吸器専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	呼吸器外科専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	呼吸器外科専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	気管支鏡専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	気管支鏡専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	放射線科専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	放射線科専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	がん薬物療法専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	がん薬物療法専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	消化器病専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	消化器病専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	消化器外科専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	消化器外科専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	消化器内視鏡専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	消化器内視鏡専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	大腸肛門病専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	大腸肛門病専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	肝臓専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	肝臓専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	乳腺専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	乳腺専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	婦人科腫瘍専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	婦人科腫瘍専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	産婦人科専門医 (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)
	産婦人科専門医 (人口10万対) (人)	医師・歯科医師・薬剤師統計 (令和2年)

カテゴリー	指標	出典
罹患	がん登録数 (人)	全国がん登録 (令和2年)
	年齢調整罹患率 (S60年人口モデル)	全国がん登録 (平成28年～令和2年) を基に4年平均値を計算
発見経緯	SIR (標準化罹患比)	全国がん登録 (平成28年～令和2年) を基に4年合算値を計算
	がん検診・健康診断・人間ドック 他疾患の経過観察中 その他	全国がん登録 (令和2年) 全国がん登録 (令和2年) 全国がん登録 (令和2年)
早期発見対策	限局 (%)	全国がん登録 (令和2年)
	所属リンパ節転移 (%)	全国がん登録 (令和2年)
	隣臓器浸潤 (%)	全国がん登録 (令和2年)
治療実績	遠隔転移 (%)	全国がん登録 (令和2年)
	不明 (%)	全国がん登録 (令和2年)
	肺悪性腫瘍手術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	肺がんを主病名とする治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	肺がんに対する化学療法	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	肺がんに対する放射線治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	結腸切除術 (全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	早期悪性腫瘍大腸粘液中層剥離術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	直腸腫瘍摘出術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	直腸切除・切断術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	腹腔鏡下直腸切除・切断術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	大腸がんを主病名とする治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
	大腸がんに対する化学療法	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)
大腸がんに対する放射線治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
胃切除術 (悪性腫瘍手術)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍手術)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
腹腔鏡下噴門側胃切除術 (悪性腫瘍切除術)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
胃がんを主病名とする治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
胃がんに対する化学療法	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
胃がんに対する放射線治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
膵体尾部腫瘍切除術等	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
膵頭部腫瘍切除術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
肝門部胆管悪性腫瘍手術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
肝切除術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法等	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
肝がんを主病名とする治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
肝がんに対する化学療法	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
肝がんに対する放射線治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
乳腺悪性腫瘍手術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
乳がんを主病名とする治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
乳がんに対する放射線治療	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
乳がんに対する化学療法	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
子宮悪性腫瘍手術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
子宮頸部切除術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
子宮全摘術	内閣府「医療提供状況の地域差」、NDB (令和2年度)	
死亡	死亡数 (人)	人口動態調査 (令和3年)
	75歳未満年齢調整死亡率 (S60年人口モデル)	人口動態調査 (平成29年～令和3年) を基に5年平均値を計算
	SMR (標準化死亡比)	人口動態調査 (平成29年～令和3年) を基に5年合算値を計算